



“母と子の笑顔広げる”

「花巻ママハウス」「釜石ママハウス・ひまわり」

「虹の家」・「ベビーホーム・虹」

成果報告書 第5号

2016.4.1－2017.3.31



「虹の家」鬼の塗り絵 コンビニに貼ってもらったよ！



「ベビーホーム・虹」
小佐野のおまわりさんとお散歩



釜石ママハウス ひまわり
子ども広場で折り紙教室



花巻ママハウス サロン

2017 年 3 月

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋

目 次

巻頭の言葉	1
第1部 「花巻ママハウス」	2
1 包括支援「花巻ママハウス」の活動	2
1) 「花巻ママハウス」の目指す方向	2
2 寄り添い相談	2
1) 目的と効果	2
2) 相談の状況	3
3) 地域連携	4
4) 相談の成果	4
5) 女性なんでも相談は、市の委託事業に！	5
3 妊産婦等子育て・家事サポート支援事業	5
4 サロン活動	6
5 研修	7
第2部 シングルマザー支援「釜石ママハウスひまわり」	8
1 ひまわりのサロン	8
2 託児	8
3 子ども広場	9
4 土曜・日曜の松澤学童保育	10
5 講座・シングルマザーの支援講座	11
1) 子育て講座	11
2) 生き方講座	12
3) 就労支援講座	13
4) O A 講座	15
6 講座の成果（受講者アンケート結果）	16
7 支援者養成講座	16
8 在宅ワーク	18
9 ひとり親のニーズをとらえるアンケート調査	20
1) 実家を頼れるか・家族構成	20
2) 現在の住まい	21
3) 震災被害・仮設からの転居予定	22
4) 離別理由・収入について	23
5) 収入の満足度・貰った手当	25
6) 支援の重要度・欲しい支援・講座の要望	26
7) ひまわりサロンでの聴き取り	29
第3部 小規模保育所	32
1 子育て支援と待機児対策	32
2 保育の姿勢	32
3 保育の目標（一人一人の個性を大切にする保育）	32
4 「ベビーホーム・虹」・「虹の家」の保育活動	33
1) 基本的な生活スケジュール（ベビーホーム・虹、虹の家 共通）	33
2) 保育の成果	34
3) 音楽の刺激	37
5 乳幼児の食事	38
6 避難訓練	39
7 保育参観	41
8 地域連携	42

第4部 組織の基盤強化と組織拡大	44
1 母と子の虹の架け橋」の組織目的	44
2 組織機構の改革	44
3 事業部に求められるマネジメント	45
4 現地のママが釜石ママを支える人材育成とスタッフ研修	45
5 広報活動の強化・ホームページのリニューアル	46

☆ 資料編

資料1 子育て世代のママへ“アンケートのお願い”	47
資料2 働きたい女性のための応援講座	49
資料3 ひとり親家庭支援者養成講座	51
資料4 花巻ママハウス(カレンダー・ニュース)	52
資料5 虹の家通信	54
資料6 ベビーホーム虹通信	55
資料7 新聞報道記事	56
資料8 施設紹介	67

巻頭の言葉

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋
理事長 若菜 多摩英

「母と子の虹の架け橋」のコンセプトは、母と子の笑顔広げることです。そのためには何をしてきたのか、これまでの活動の総括と検証のため 2016 年度の成果報告書を発刊する。2016 年度の成果報告書は、各事業部門の成果をお伝えするものとして作成・編集いたしました。

「花巻ママハウス」の女性相談は、認定心理士・家族相談士等の有資格の方や、これまで自治体での相談活動の経験豊富な方が担当していることもあり、このところの相談は大きく伸びております。お陰様で、「花巻ママハウス」の事業は、2017 年度は花巻市の委託事業となります。一層の相談スキルの獲得を目指して、これまでの研修の効果が相談に反映できていること、研修で出会う方との連携も相談に活かしていることから継続強化し、寄り添い相談を、最後の砦と思って戴けるよう進めてきました。結果、2017 年度、女性なんでも相談および、女性弁護士の法律相談は、花巻市の委託事業として、講座の開設と併せて展開できることとなりました。

“釜石ママハウス ひまわり”は昨年 10 月から今年の 9 月まで、岩手県及び JCB の助成金を得て、平田から市街地の野田に移転をして 11 月 14 日にオープン致しました。目玉事業の“シングルマザーの支援”活動は、個人情報壁の前で思う成果が出せませんでした。しかしながら、保育所や学童保育所等のご協力で、ひとり親のニーズ把握については、アンケート調査を行い、具体的なデータで報告しております。詳細は本ページをご覧ください。

小規模保育事業では、大型園とは異なった、保育者 1 人で 3 人の乳児を保育し、幼児は 1 人で 6 人の幼児を見るというゆとりある人材の配置で、個々のお子様の心や行動をしっかり見て取れる中で、園としての保育計画とお子様一人一人の個別の方針・課題の設定などにも取り組み、工夫したこととその結果、得られたことなど、本文に記載しております。日本列島が、今年度も災害列島の様相を見せておりますが、避難場所の確認と避難訓練や消防車の試乗等も行って、防災への関心を高めております。

組織の基盤強化のベースとして、理事会・幹事会が 2016 年度の後期から、ほぼ定期化されて開催できました。また、今年度は、これまでのホームページも全面リニューアルいたしました。しかし、ページの更新スキルはまだまだ成長の余地が有り、ホームページやフェイスブックを、賛同者に伝えるツールとして活用していくことには、重ねて努力が必要です。

此処まで活動が広がってきたことは、関係行政機関はじめ、多くの関係機関・団体の方々のご支援の賜物です。この誌上にて改めて感謝申し上げます。有難うございます。

今後ともご支援・ご助言を、よろしくお願い申し上げます。

第1部 「花巻ママハウス」

1 包括支援「花巻ママハウス」の活動

「女性なんでも相談」は、生活を支える様々な制度や社会資源につないでいくため、生活の維持や立て直しに必要な役所や福祉事務所などの公的機関、NPO、病院、企業、学校などの道筋に繋げていくことを、必要に応じて、相談者と共に手続きにたどり着き、問題が解決できるサポートを行っていく。

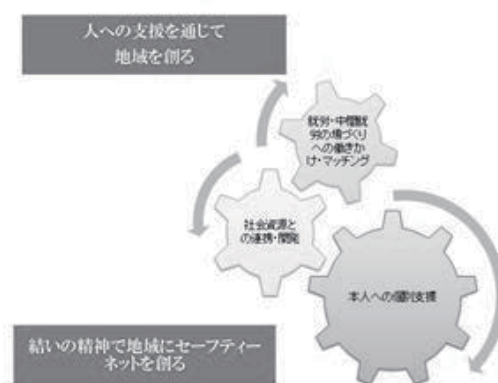
花巻ママハウスでの女性相談から感じ取られるのは、相談される方々が、出身家族や住む地域、職場などから心理的・社会的・経済的に孤立している感が伺われる。経済的困窮も背景にあるが、こうした社会的なつながりが弱くなって来ていることが感じられる。単身による孤立とは違い、関係の希薄化・関係の喪失による社会的孤立の深化である。

社会的孤立はセーフティーネットが方や整備されていても、かつてあった地縁・血縁・社縁が希薄になってきた時代の背景が、その制度を知らない・または手続きに行けないことから、問題の緩和・解決に繋がらずに一人苦しむと言う事態に陥っている方が、沢山、実は居るのではないだろうかと感じている。

1) 「花巻ママハウス」の目指す方向

家族や地域・職場などから疎外され孤立した女性の生活の立て直しと改善の拠点となり、人間性の回復と自己表現できる居場所（安らげる場所・落ち着ける場所・再出発できる場所）を提供している。

加藤静香弁護士とパーソナルサポートセンターの吉田直美氏、インクルいわての山屋理恵氏の協力者の下、相談室では、ママらの困りごと・悩みをしっかりと聞き取り、ご本人のプランによる解決を支えている。



「花巻ママハウス」の相談室は地域の機関等との連携で、その方の居場所を探すことから、相談者の抱える問題等の解決をともに進め、生きづらさを生きやすさに、幸せに生きることができることを目指している。

2. 寄り添い相談

寄り添い相談では、NPO 法人くらしのサポーターズ(あすからのくらし相談室・宮古) の吉田直美氏とインクルいわての山屋理恵氏、また、法律問題に関しては、女性弁護士の加藤静香氏のスーパーバイズ(助言・指導)はじめ、関係機関・団体との有機的連携の下で相談を行ってきた。

1) 目的と効果

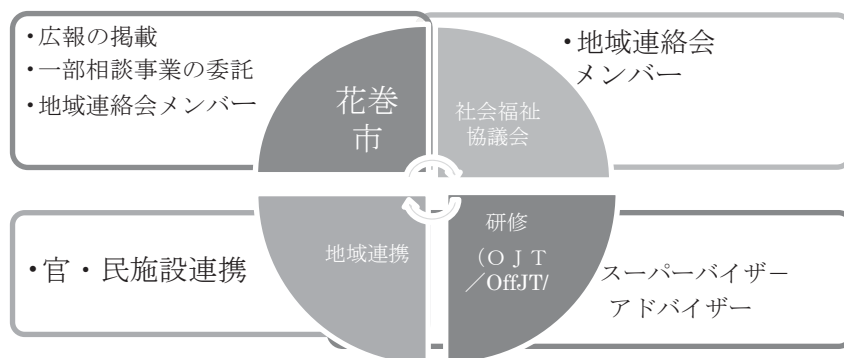
相談室では女性が自律・自立し、自分らしく生き生きと希望をもって生きていけるように、さまざまな問題の相談を受けている。相談者の問題や悩みを解決するため、相談者の心情に寄り添い、相談者が解決に向けて方向性をともに考え主体的に選択できるような援助を目指している。相談者の中には社会的孤立感、援助者がいない寂寥感や不安感、精神疾患を抱え対人関係の困難さや不安定な人には、積極的な傾聴を行い、心のケアにも努めてきた。

また、必要に応じて専門家の助言を仰ぎ、関係機関と連携を図りながら相談者の支援を行っている。

結果、相談者に良好な変化が生じている。対人恐怖で人間関係に問題を抱える相談者が必要な医療機関につながり、感情の表出が見られ対話数も増え打ち解けてきた。初回相談で激しくバッシングし責め立て

る口調で話す相談者が今では双方向の対話が出来るまでになった。相談者は相談員との信頼関係を通して心の拠り所として利用している。これまで社会的に排除されがちな扱いを受け続けてきた相談者が相談員との関係を通して、承認欲求が満たされ、人が本来持つべき自尊感情を取り戻している。

“人と人が繋ぐ・繋がる”ことによって、心理的負担が軽減され、多くの問題が解決へと近づいていることに気づく。



相談は、各機関同士の情報共有と連携で、相談者の支援がより効果的に行えることとなる。

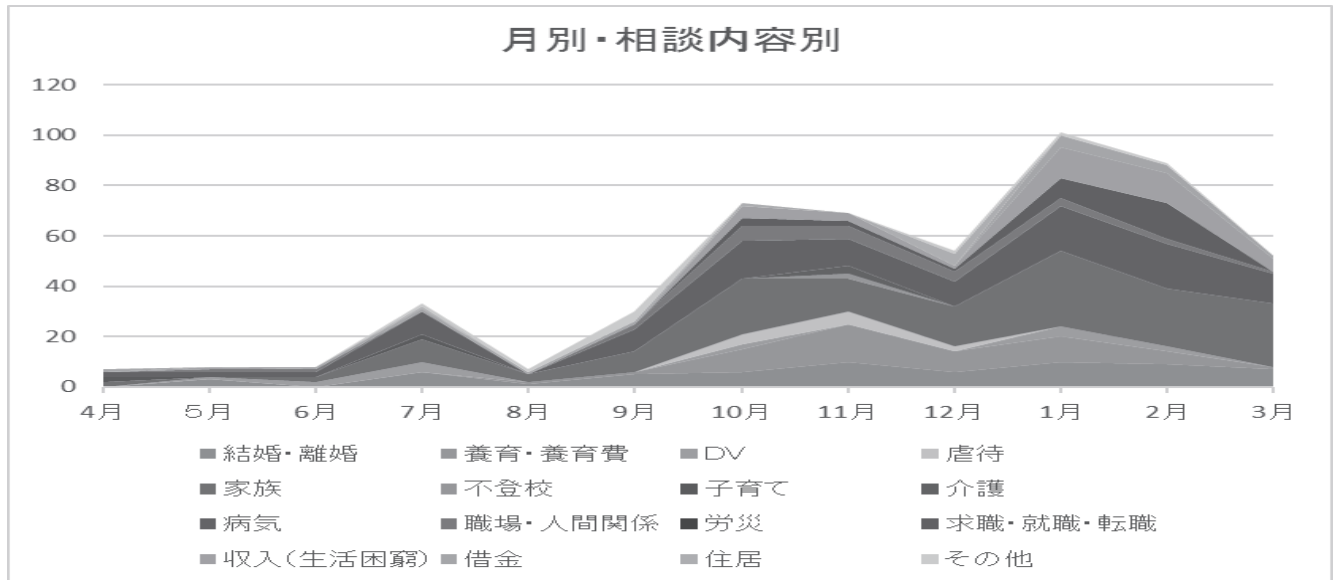
2) 相談の状況

女性相談事業は2014年12月に開始の時は、週2日（土・月）のみの対応から、徐々に相談日を増やし、2016年度は、土・日の相談と弁護士相談は花巻市の委託を受けて実施となった。祝日・年末年始を除き、毎日・相談を受けている。相談員は理事長を含めて4名が、釜石ひまわり基金法律事務所の加藤静香弁護士・インクル岩手の山谷理恵氏・くらしのサポーターの吉田直美氏・かんな福祉相談支援事業所の高橋岳志氏もアドバイザーとして関わっている。

相談件数は、かなり増加傾向にあり、DV・離婚のこと・子どものこと・お金のこと・職場のこと・生活のこと・病気のこと・財産のこと等様々である。最近、気付いたことは心の問題を抱える方の相談も増加している。身近に相談できる人がいない・支援者がいない人が殆どで、地域からは、孤立している人が増加していることが感じられる。花巻ママハウスは、専門的立場での支援を目指し、釜石ひまわり基金法律事務所の加藤静香弁護士・インクル岩手の山谷理恵氏・くらしのサポーターの吉田直美氏・かんな福祉相談支援事業所の高橋岳志氏の助言を戴きながら対応している。

まずは、花巻ママハウスの相談員とつながって、心の拠りどころ・安堵の場となり、表情が明るくなっていることが嬉しい。相談者の課題・問題解決は関係機関との連携があつてこそ、活用しながら問題解決に繋げて行きたい。

H28年度 女性なんでも相談実績 (主訴別 延べ件数)																	
	結婚・離婚	養育・養育費	DV	虐待	家族	不登校	子育て	介護	病気	職場・人間関係	労災	求職・就職	収入(生活困窮)	借金	住居	その他	計
合計	63	50	15	11	153	2	4	3	108	25	0	28	39	14	7	9	531



右上のグラフを見て分かるように、8月期は相談件数が大きく落ちている。また10月以降は、前月比に比して毎月相談延件数は毎月増加していたが、1月をピークに漸減している。相談内容でその特徴を見ると、女性相談と銘打っている相談に合致した形で家族問題 153 件、病気 108 件、結婚・離婚 63 件、養育・養育費の問題 50 件、生活(困窮) 39 件、求職・就職 28 件、DV・虐待 26 件、職場・人間関係 25 件、借金 14 件、住居 7 件、不登校 4 件、子育て 3 件、介護 2 件、その他 9 件である。病気は糖尿病などの慢性疾患であったり、心の問題であったりしており、いずれも容易に治癒に辿ることが困難であり、生活の積み重ねの中での疾患である。

3) 地域連携

昨今の女性の悩み相談は複合的な問題が絡み合っていることが多い。それゆえ、地域にあるネットワーク資源の活用が必要となっている。そこで、花巻ママハウスの相談室では、相談される方のより良き対応のため、解決のための、適切な対応ができるよう、隔月に行政機関や福祉機関、専門家のアドバイザーを交え、年6回地域連絡協議会を開催した。それぞれ相談機関の特性や役割を活かし、連携に努めている。

1) 地域連絡会：地域福祉課・社会福祉協議会・花巻ママハウス

参加者は地域福祉課および社会福祉協議会の相談員、花巻ママハウスの相談員と時に、社会福祉士・精神保健福祉士の参加を得て、相談に対応している。

開催日 奇数月(5月・7月・9月・11月・1月・3月) 13:30 ～ 15:00

メンバー 市役所地域福祉課および社会福祉協議会の専門相談員、花巻ママハウス(相談員4名)

4) 相談の成果 相談機関の評価・相談者側の評価(本人の満足度)

相談の指標・課題の成果測定のため、以下の解決指標を設定する。

- A:主訴が解決した Or 相談者の満足度が高い。10 人
 B:主訴が軽減した Or 根本の解決に至らないが、精神的に安定した。18 人
 C:課題解決に見通しが出来た Or 孤立感が軽減した。7 人
 D:包括支援としてアドバイザー・弁護士・医療機関・行政機関・就労等支援機関につないだ。
 11 件
 E:相談に着手＝ゆっくり話を聴き共有・共感・よりそいの精神で対応。12 人

3 月 31 日現在 58 人

相談員から

“女性がいきいきと輝いて暮らせる社会”に向けて

ここ数カ月、相談件数が増加傾向にあり、電話相談が多く、次に来所・メールの順になっています。内容は離婚や家族の相談が多数みられ、その他では、暮らしの不安・健康不安・お金関連等の相談があります。弁護士の無料相談も増加していて、離婚調停・慰謝料・親権等、専門家のアドバイスを受ける相談者もいられる。また、必要に応じて医療機関等への訪問も活動も実施している。

女性が生きづらさを感じている事実と、不安や悩みを抱え試行錯誤しながら生活している方々の女性の気持ちに寄り添った相談を行ってきた。日頃、社会の福祉の研修の受講始め、弁護士と専門アドバイザーによる研修の場も設けられており、相談員の心構え・知識などを活用してきた。

5) 女性なんでも相談は、市の委託事業に！

「花巻ママハウス」の女性なんでも相談は、2017 年 4 月の広報はなまきの②面に掲載されています（掲載記事は右の通り）が、「花巻ママハウス」の相談室は、振り返ると、寄り添い相談を初めて 2 年半。この間、2016 年度は、土・日の「女性なんでも相談」と月 1 回の女性弁護士相談の一部の委託から、2017 年度は全面委託となった。

これまで、相談者の話を聞いて、「こうしたら」、「ああしたら」の指導的・指示的な相談ではなく、寄り添った支援を進めてきた。

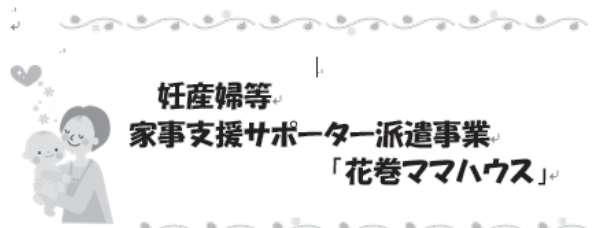
シングルマザーや様々な年齢層の女性を、生き辛さを抱える方の問題に、相談者と相談員との相互の信頼関係を作ることをまず第一とし、その上で、相談者の「こうしたい」、「ああしたい」の長期目標と短期目標をしっかりと聞き取り、その実現に向かった幾つかのステップも、時に考えあひながらの相談をこれからも行っていく。

■婦人相談・女性弁護士相談
 （花巻市委託事業）
 女性が抱えるさまざまな悩みや心配事をお聞きします。
 ①婦人相談
 【日時】毎日（祝日・年末年始を除く）、午前10時～午後3時
 【対応者】花巻ママハウスの女性相談員
 ※ご利用前に下記へご連絡ください
 ②女性弁護士相談
 【日時】毎月第3月曜日、午後1時30分～3時30分
 【対応者】専門の女性弁護士
 ※相談は30分。事前の予約が必要です
 ①②共通
 【会場】花巻ママハウス（上小舟渡272-1 伊藤住宅8号棟）
 【問い合わせ・②の予約】同上（☎29-6800）

女性弁護士による法律相談はこれまでの第1月曜から、2017年度は第3月曜日となる。

3 妊産婦等子育て・家事サポート支援事業

産前・産後等で体調不良等のため、家事や育児・介護等が困難なお母さんのいる家庭にサポーターを派遣し、援助をすることで、お母さんの精神的・肉体的負担を軽減するサービスとして、「花巻ママハウス」の家事支援サポーターがご自宅へ訪問し、援助を行う事業として実施した。



「妊産婦等家事支援サポーター派遣事業」とは

産前・産後等で体調不良等のため、家事や育児・介護等が困難なお母さんのいる家庭にサポーターを派遣し、援助をすることで、お母さんの精神的・肉体的負担を軽減するサービスです。

「花巻ママハウス」の家事支援サポーターがご自宅へ訪問し、援助を行います。

利用対象者

花巻市や近隣にお住まいの方で、日中に家族等から援助を受けれず支援が必要な方



サービス内容

事前に「花巻ママハウス」のコーディネーターがお宅へ訪問して利用者の皆様と打ち合わせの上、提供するサービスを決定します。なお、サービスの内容は日常生活にかかわる範囲とします。

※出生したお子さんの保育は対象となりません

サービス内容	提 供 例
簡単な食事の支度・下準備	家族の食事の支度（来客者の応接等は不可）
衣類の洗濯	家族の衣類等の洗濯
居室の掃除・整理整頓	日常的な掃除
お風呂の掃除	準備や湯足し、片付け、子を受け取る等
食材や生活用品の買物	生活必需品の買物（徒歩圏内）
上の子の世話	上の子の遊び相手（外に出る場合は1人に限る）
上の子の送迎	保育園等への送迎（未就学児に限る） 遠方の場合は、できないことがあります
健診等の付き添い・他	1ヶ月健診、通院等の同行

利用について

◎利用時間帯

年末年始（12月29日～1月3日）を除き午前8時～午後7時のうち、1時間単位で1日4時間まで（1日の派遣回数は2回までです）

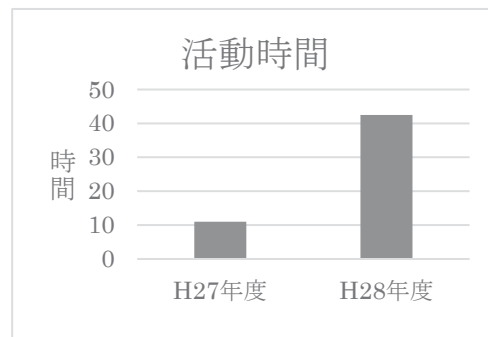
◎利用料金

1時間につき800円（ただし、利用時間が1時間に満たない場合も1時間利用の扱いとなります）料金は、訪問したサポーターに直接お支払いください。

※ 買物、送迎等で交通費がかかる場合は、実費を負担していただきます。

1）実績

妊産婦等子育て・家事支援事業は2015年11月から2016年3月まで計11時間、2016年4月から11月まで計42.5時間の活動を行った。中には、他市からの問い合わせや派遣依頼があったが、予算や距離的なことから実際の活動には至らなかった。2016年は前年度のPRの効果もあり、リピーターや新規依頼が活動に結びつき活動時間が3倍増加につながった。



2）今後の妊産婦等の子育て支援事業について

妊産婦等の子育て支援の要望事態は根強く、切羽詰まったママの現状が伺われることから、拠点型の一時預かり保育と連動した事業展開を今後検討していく。

4．サロン活動

サロンを活用しての各種講座を開設。2017年度は、全体で426名の参加者であった。

①ママ手芸部

- ・集まれる場所があつて嬉しい。・手芸に集中できる
- ・子ども同士の交流になる　・気分転換になる

②パッチワーク教室

- ・ 小さいお子さんを保育してくださる方がいたので、とても助かりました。（保育ボランティアの宮澤さん、何時もありがとう）



③ひまわり手芸店出張講座

ママハウスから発信してもらっているのも、手芸に興味をもってもらえるきっかけになる。

小さい子はみれないので、ママハウスだと保育してくれているので、いいと思った。お子さん連れのお母さんは気になって手芸などできないと思うので。



④ベビーヨガ

講座でしたが、いつも皆さんにゆったりとした気分で楽しんで頂ける時間になるよう行いました。呼吸法やお子さんとのヨガ遊びを、これからも続けて頂ければ嬉しいです。

⑤布ナプキン&ストレッチポール教室

- ・ 布ナプキンに興味があったけれど、始め方がわからなかったのも、良かった。
- ・ 使い方や布ナプキンのお手入れの仕方がわかり良かった。

5. 研修

女性相談のスタッフは、各級・機関で実施の研修では積極的に参加している。専門分野の知識・概念を学ぶだけでなく、講座であった方との名刺交換等で、人を知ることも大事な要素としている。

	日時	テーマ・内容
1	6月3日	テーマ「組織基盤強化」
2	8月18,19日	テーマ「コーチング（スーパービジョン）研修」
3	11月8,9日	テーマ「相談支援研修プログラム」
4	2月16日	テーマ「フードバンクと生活困窮者」
5	2月23日	テーマ「個の問題に応じた家族支援の在り方」
6	2月27,28日	テーマ「岩手における地域福祉の『資源開発』を考える
7	3月3日	テーマ「多様な人材が活躍し、様々なビジネスが展開されるまちを目指して」
8	3月3日	テーマ「子育て支援情報ネットワーク交流会」

第2部 シングルマザー支援「釜石ママハウスひまわり」

★岩手県『平成28年度NP0等による復興支援事業(復興枠)』の助成を受けて実施★

シングルマザーの貧困は子どもの貧困であり、家庭が安全な場でなくなると成長が阻害されてくる。また、貧困は他の子供と同じチャレンジができにくくなり、学校での体験できる幅が抑制されることから、同年代の子供との学びと遊びの場を確保する必要があると考え、ひまわりでは、ママがチャレンジできる機会を生み出すため、ひまわりを開設し、以下のプログラムで事業を進めてきた。



1. ひまわりのサロン・ママの交流の場

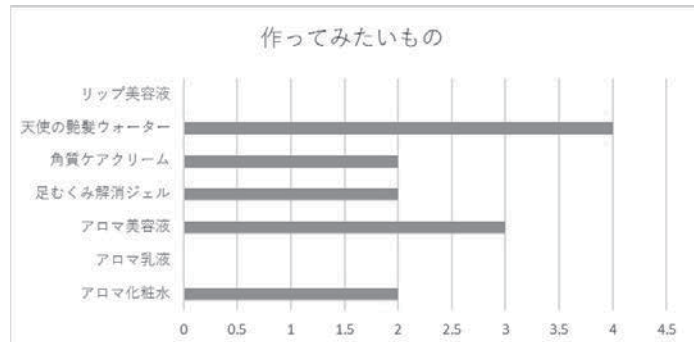
無料PC3台を提供し、自らの情報検索・メールの利活用 of 場も提供している。

アロマの講座

家族でもち肌になれる♪ラベンダークリームを作りました。参加人数5名・講座託児人数6名

はじめてこのような講座に参加しましたが、説明もわかりやすく作り方も簡単で楽しかったです。今日作ったクリームもぜひ子どもと使ってみたいです。

- ・ 子育てしている中で、アロマで癒される機会はなかなかないので久しぶりにいい気分になった。
- ・ アロマについての説明もしていただいたのでより理解が深まりました。楽しむだけでなく、知識としても取り入れたいと思いました。
- ・ 使うのがもったいないぐらい良い香りでリラックスしたい時に使いたいと思います。アロマの香りでゆったりとした気持ちで参加することができました。
- ・ ハーブティーも美味しかったです。火も使わないので小さな子が一緒でも安心して作ることができました。



2. 託児

ママの学びやリラクゼーションの機会確保のための未就学児の一時預かり保育。

- ・ 預かり児童 延べ146人 保育料収入134,200円 託児内容 日時 月曜～土曜日
- ・ 時間 9時～17時まで(保育時間相談可能)
- ・ 料金 ひとり親家庭 1時間200円 1日1,500円 月額15,000円
一般家庭 1時間300円 1日2,000円 月額20,000円

3. 子ども広場

小学生等の学校の長期休業期の学びと遊びの場 釜石市教育委員会共催

第1回目 2016, 12, 26, (月)

場所 甲子町コスモス公園

10:00 ~ 16:00

参加者 児童3名 スタッフ3名

内容 学習サポート・公園にて外遊び・昼食作り(カレー作り)

感想 4年男子…天气が良いので野外デッキで青空学習をしたがとても寒かった。勉強を早めに切り上げ、外遊びに切り替えたので良かった。4年男子…デッキでPPAPなど今流行っている歌や踊りをみんなでやったのが盛り上がり楽しかった。4年男子…いつもは学童だけど、たまにはいいなあと思った。

第2回目 2017, 1, 12, (木)

場所 唐丹町 唐丹学童 10:00~ 12:00

参加者 児童17名 学童先生 2名
スタッフ2名

内容 民生委員の金濱喜代さんを講師に、折り紙教室を実施

感想 1年男子…折り紙でいっぱい作れて楽しかった。2年女子…コマや箱の作り方がわかり勉強になった。4年女子…コマの部品を友達同士で交換できる楽しさがあつた。6年女子…普段は買って遊ぶおもちゃばかりなので、自分で作って遊ぶ楽しさを知った。折り方を覚えたので他の子にも教えたい。普段ゲームばかりの子どもたちが、手指を使い、頭を使い、先生の話真剣に聞きながら折り紙に取り組む。

担当者コメント:

折り紙では、分かりづらいところを上級生が下級生に教えてあげていて、異年齢での遊びが自然発に生まれた。唐丹は津波浸水地域の一つであり、日々仮設校舎で子どもたちは学び、現在も小中併設新校舎を建設中である。釜石全体から見て唐丹地区の子供の数は少ないが、だからこそ子どもの居場所も市街地よりは断然少ない。

ひまわり 託児プログラム (一日の流れ)

★託児の予約は原則、前日までの予約制です★
★持ち物は全てに名前のお記入をお願いします★
★早朝保育、延長保育については個別にご相談ください★

9:00 ひまわり園所 託児受け入れ開始
【登園したること】

- ・手指消毒し、入室
- ・家庭連絡カード(保護者に家庭欄を記入してもらう)
- ・持ち物確認と受け取り
- ・帰りの時間と送迎者確認 (例: 15時に母がお迎え)

9:30 まで自由あそび→お片付け
9:35 排泄(オムツ・トイレ介助)・手洗い・うがい
9:45 おやつ

- ・座る椅子やテーブルをアルコールで消毒
- ・持参のおやつと水筒の水分補給

10:00 朝の会

- ・ごあいさつ・お返事・体調チェック
- ・歌・絵本・紙芝居・手あそび

10:10 活動

- ・散歩…近所の公園・避難経路確認 ※外出前にオムツ以外の子はトイレ確認
- ・室内あそび…お絵かき・製作・音楽・からだあそび

11:20 排泄・手洗い・うがい
11:30 昼食

- ・座る椅子やテーブルをアルコールで消毒
- ・おしほりを濡らし、しほって手拭す
- ・持参の弁当と水筒の水分補給

12:15 歯磨き・トイレ(オムツ)手洗い
12:30 お昼寝 (時間前に寝る子に対応し、時間記録する)

- ・布団を敷く・パジャマ着替え介助

14:45 排泄・手洗い・着替え
15:00 おやつ

- ・座る椅子やテーブルをアルコールで消毒

15:15 帰りの会

- ・おやつのお片付けを片付けてきて、お道具を入れ、片づける
- ・お帰りのうた・ご挨拶

15:30 自由あそび (椅子を片付けてから)

17:00 最終のお子さん16:50保護者に連絡
お迎えの保護者に…
【降園時にすること】

- ・託児料の提示→領収書、おつりあれば渡す
- ・連絡カードすべて記入されているか確認し渡す








子ども広場・折り紙教室 冬期

第3回目 平成28年1月13日（コスモス）参加児童10名

長期休業中の子どもに遊びと学びの機会を確保し、遊びを通じ、社会性の形成と情緒豊かな人間性を育む。

講習作品 「粘土を使ってスイーツを作ってみよう」

第4回目 3月29日 参加児童38名 ママがボランティア

1人、学童の先生3人スタッフスタッフ10名、三陸駒舎1人、三陸ひとつなぎ2人、釜石の学童クラブ 大型バス

感想

トン汁も美味しかったし、野菜ハンバーグも美味しかった。

馬が優しい顔をしていました。馬が最初は怖かったけど、触れるようになって嬉しかった。改めて馬が可愛いと思った。初めて馬に乗ったが面白かった。ゴボウで作ったナポリタンが美味しかった！ 切り干し大根のナポリタンが美味しかった。苦手なものもコスモスのお弁当なら美味しかった。鼻が寄る行動しないことが分かった。ネーチャーゲームが面白かった。「初めて」ゲームで鶴住居の子と仲良くなれてよかった。バットモスの遊びが面白かった（多くの子が記載）。

（内容） コスモス広場は、文句なしに Good！ 特に最近はやりのクライミングの壁も3面有る！ 見てると、思い・思いに子どもたちが登っていく！ ここから、東京五輪の出場選手が生まれる！ 当日のメインイベントは、“三陸駒舎の乗馬”だ。子どもの餌やりで子供と馬の触れ合い、そして、引き綱を握って歩くと、徐々に馬と子どもの触れ合いが自然に進行！ 黍原豊さんが馬にも子供にも優しい関係を創ってくれている！

お昼は、ご存知、有機栽培の季節の野菜・旬の野菜を中心のお弁当！ 当日は“子どもの好きなハンバーグ” も入ってまーすをみんなで囲んで美味しいね！

4. 土曜・日曜の松澤学童保育

学童保育は、日曜は開設されていない。しかし、松澤宅で、土・日の曜日限定で、行政の狭間をカバーしている。松澤学童保育は、基本、土・日に開設されているものの、平日の下校が速い時などの孫たちの都合で、日によって異なるが、孫の子供が中心で小学生や中学生が9名から12名程度が集まって来ている。賢治は、“全体が幸せでないと個人の幸せはない”と言う。子ども同士のおしゃべりの輪、語らいの輪が広がっていくのが嬉しい！ 我が家の孫の友達の輪も広がることが嬉しい！ 松澤学童では宿題も出来るようにしているが、子どもたちが、“出来た！”と誇らしげな笑顔が見れるのも嬉しい！

I'm Ok Your Ok（私も良い！ 君も良い！ 我が子も・人の子もOK!!）と子どもの笑顔が私のエネルギーに変っていく。ボランティアは、私自身のためでもあり、私自身の生きがいとなっている。

*土・日学童の開催は2015年3月位から行っており、これまで、延べ700人程度の子供が利用。

*元母子寡婦協議会の副会長の松澤珠枝氏（現ひまわりのスタッフ）

冬休み 子ども広場

ボランティア募集。
お父さん、お母さん、おじいちゃん、
おばあちゃんのお手伝い募集。
ご協力お願いします。

実施日 2016年12月26日 2017年1月13日

場所 創作農家こすもす公園

参加費 無料
昼食、おやつ作りに参加の場合は実費(200円)をいただきます。
※アレルギーの有無等、確認のため事前登録が必要になります。

対象 小学生以上ならだれでもOK!!
※未就学児(0-6歳)は保護者同伴。

時間 10:00 OPEN!! 16:00 CLOSE!!
スタート さよなら。

内容 1. 学習…冬休みの宿題・課題のサポート。
2. 生活…自分たちが食べる物を調達し、作って食べる。
3. 活動…野外：運動・自然観察・レクリエーション。
室内：制作(芸術・昔あそび・制作)。

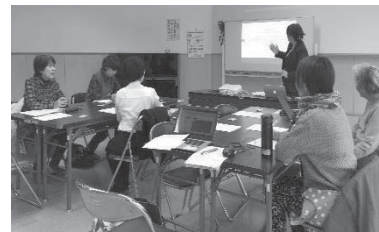
お子様のお名前	年齢	住所	連絡先	気になる点・アレルギーなど
	男			
	男			
	男			
	男			

※写真撮影について。
学童や遊びの様子を撮影することがあります。
写真は関係ない方、遠慮なくお申し出ください。
(四捨五入・間違いのない)

お問い合わせ先：釜石ママハウスひまわり 0193-27-8712

5. 講座・・シングルマザーの支援講座

目的と効果 働きたい女性のための応援講座として、11月16日～12月21日 全11回と、OA講座12月9、14、15、1月10、11、17、18日 全7回講座を入れて 全日程18日に及ぶロングラン講座であった。講師の方々は、盛岡と花巻からそれぞれ駆けつけての応援講座であった！



1) 子育て講座

② ママも子どもも笑顔になる♪片づけしなさいと言わずに済む整理収納環境作り

11月17日(木) 10:00～12:00 中妻応援センター

講師 整理収納コンサルティング style-R代表 金田玲子 参加者 7名 託児1人

感想

- ・ 場所がきれいで広くて良かったと思う。講座はすごくタメになりました。少しずつやってみたいと思いました。
- ・ 今使っていない物は捨てる！ではなく、思い出箱や迷い箱に分けて整理する事に気付けたので、これからは子どもと一緒に少しずつ時間がある時に片づけていこうと思いました。
- ・ とても参考になりました。片付けに取り組むためのモチベーションが少し上がりました。ありがとうございました。
- ・ あっという間に時間が過ぎ楽しかったです。収納についての気付きがたくさんあり参加して良かったです。



③ 親子で作る美味しいごはん スピード調理なのに栄養豊か!!

11月20日(日) 10:00～12:00 青葉ビル参加者 21名(大人11名・子ども10名)

講師 ヘルシー食生活プランナー メディカルクッキング 代表 佐藤ユウ

感想

- ・ 子供と一緒に楽しめて良い体験になったと思う
- ・ 町中で交通の便が良く利用しやすかったです。食育講座なので午前中に作ってそのまま食べられてとても満足です。普段の生活にとりいれたいレシピばかりでした。ありがとうございました。
- ・ 講師の佐藤ユウ先生の料理講習の内容がわかりやすく自分でも作ってみようと思う。レシピも教えてもらえて役にたちました。
- ・ 親子で作る！がテーマなのに、子どもたちの出来る仕事が少なくヒマを持て余し遊びになってしまった。料理や栄養の話も子どもたちにとっては面白くないらしく…クイズ形式など少し工夫が欲しかった。小さい子供ももっと楽しく参加出来たり良かったと思います。



親子料理教室

2 生き方講座

① 離婚・慰謝料・DV等の現状と解決について 11月16日(水) 参加者 9名

9:30~11:30 中妻応援センター

講師 ひまわり法律事務所 加藤静香弁護士

感想

- ・ 知らないことばかりでとても勉強になりました。友達とかにも教えてあげたいと思います。
- ・ 知ってるのと知らないのでは、今後の人生で損得もでてくると思う。自分だけでなく、困っている周りのものにも機会があれば伝えたい。平日の日中だと、本当に困っているママたちが参加しづらいので、日曜開催するともっとよい。
- ・ 参加しやすくよかった。先生のお話はわかりやすくよかった。



⑤ 「働く女性」のお金の基本を身につけよう 11月27日(日)

10:00~12:00 青葉ビル

講師 キャリアとマネーのプランニング講師、トータルライフ・ラボラトリー代表 大久保 名美

参加者 8名

⑥ 「自己PR発掘講座」

仕事の経験から掘り起こす自分だけの自己PRポイント 11月27日(日) 13:30~16:00

青葉ビル 参加者 6名

講師 キャリアとマネーのプランニング講師、トータルライフ・ラボラトリー代表 大久保 名美

- ・ 無理せず節約できる方法が勉強でき良かった。
- ・ 子どものお金の話や、今後の人生のお金について改めて詳しく知ることができてとても勉強になりました。「知識は武器」という言葉を聞いて、今後もっと知識を深めようと感じました。
- ・ 自己PRについて、自分以外の人に話をしたり、他の人に自分を知ってもらおうと新たな自分が見えてとても楽しかったです。
- ・ 目先のことばかり見ていたので5年後のことなど考えて今後の人生をよりよくできればと思います。

⑦ 生きる力をはぐくむ 子どもの声の聴きかた 11月29日(火) 13:30~16:00 参加者 7名

中妻応援センター

講師 シニア産業カウンセラー CO. CORO 代表 藤村 七美

- ・ 幼稚園のお迎えの時間とかぶってしまったので途中で抜けました。できれば送迎にかぶらない時間だと助かります。
- ・ 隠された子どもの心の声、自分の心の声、考えることの大切さ

- ・机を置かずイスをサークルに配置し対話しながらの受講スタイルにまず驚き新鮮でした。
- ・子どもに限らずコミュニケーション能力や傾聴について学びました。ただ子どもの特性に沿った傾聴についてもっと深く知りたかったですし、一般的な相談の講座と似ている気がしました。
- ・先生が紹介してくれた「レジリエンスを育てるキッズワークブック」についてもっと知りたかったです。



3) 就労支援講座

④ 大勢の前でもあがらずにラクに話そう♪ 参加者 7名

緊張上がり克服講座 11月24日(木) 10:00~12:00 中妻応援センター

講師 緊張上がり克服講師 オフィスラポール代表 佐々木ひとみ

感想

- ・楽しく講座が学べて、わかりやすくとても役立ちました。ありがとうございました。学んだことを実行してみたいです。
- ・身近なテーマで自己紹介のイメージ等、学ぶことができとても良かったです。先生の笑顔、言葉遣いに学ぶことが多かったなと感謝です。
- ・あがり症だと気にし続けて言い続けてきたことが“原因の一つ”とわかりました。お茶サロンスタッフの仕事も始めてるので！自己紹介の仕方やってみます。
- ・とても参加しやすい場所・時間でした。緊張のメカニズムや克服法を脳科学やユーモアをまじえてお話しされていて、とてもわかりやすく楽しく聞くことが出来ました。ありがとうございました。「脳は主語を理解しない」日常に活かしていきたいです。
- ・楽しく参加出来ました。開催場所もとても良いところで、平日の午前中というのも大人だけで参加する分には(土日祝は基本仕事の為)自分にとっては良かったです。先生もスタッフの方も話しやすい人たちばかりで安心できました。



⑧ 貴女の良さをきちんと伝える!! 基礎から学ぶビジネスマナー 参加者 8名

12月8日(木) 10:00~12:00 中妻応援センター

講師 人材育成コンサルタント(株)ai びじねす 代表取締役 中村夢美子

- ・ 自分を見つめなおす身近なテーマで勉強になりました。言葉遣い、これから意識してみます。
- ・ 役立つ情報が得られました。抱えていた問題・不安の解消につながった。
- ・ いつも何となくかけている電話でしたが相手に不快をあたえず自分も気持ちよく対応する秘訣を教えていただきありがとうございました。
- ・ 途中から参加したため、敬語の使い方も学びたかったです。とてもわかりやすかったです。とても楽しかったです。



⑨ 自分を好きになることが、最初の一步！ 12月18日(日) 10:00~12:00 青葉ビル

講師 コーチング研修講師 Office-asaji 藤原 麻路 参加者 10名

⑩ 嫌いな人がいなくなる?!最高のコミュニケーションを手になろう！ 12月18日(日)

13:30~16:00

講師 コーチング研修講師 Office-asaji 藤原 麻路 参加者 7名

感想

- ・ 出来ない部分に目を向けるのではなく、出来る部分をどうしたらできるか？の自分への問いかけを意識していこうと思いました。
- ・ 自分を好きになるために実践的な内容でとても勉強になりました。
- ・ 苦手な人とのつきあい方について勉強になり、早速実行したいと思えました。
- ・ 自分がマイナスになると全てがマイナスになる。プラス思考で家族の中で(母)が明るいと家族も明るくなる。為になりました。
- ・ 誰も教えてくれない講話で(自分をふりかえる意味)日常生活に役立たせたいと思います。
- ・ 場所、時間は今回の内容を考えますと良かったと思います。
- ・ ママハウスさんの活動、応援しています。とても大切な取り組みだと感じています。

⑪ あなたの暮らしや権利を守る 働く上での知識あれこれ 12月21日(水) 10:00~12:00

講師 社会保険労務士 オフィスサポート SAWASE 所長 澤瀬 典子 参加者 4名

- ・ 仕事をしていく上で知りたい権利義務、明細など知ることができ良かった。
- ・ 場所、時間もよく参加しやすかったです。わかりやすくなったので、もっと多くの人に参加して聞いてもらいたいと思いました。もっと多くの人に参加して聞いて子育て世代にも参加してもらえよう幼稚園や保育園、学校などで行ってもいいのかな？と思ったりしました。



4) OA 講座

12月9日、14日、15日、1月10日、11日、17日、18日 受講者 8名

(全7回講座) 講師 釜石市職業訓練協会 阿部 範子

公的資格試験 コンピューターサービス技能試験3級表計算技士 受講者 8名 試験合格者(6名)

感想

- ・ 盛りだくさんの内容でした。やはり何度も練習することが大切!!
- ・ PC講座の為、約1時間に一回休憩をもらえるのは良かったです。頭を使う作業でのべ6時間は中身が濃くて、時々パンクしそうになりますが、仕事しながらの短期集中と思えばやむを得ないのかなとも思いました。
- ・ 遠いですが静かな場所なのでいいと思います。時間は16時までで、その後自習なので当初思っていた17時より早くなっていたので、子どもを迎えに行く関係で少し余裕ができました。仕事を辞めてから9年くらい経っていて、その間パソコンをさわっていなかったこともあり、一から勉強するつもりで参加しました。パソコンを使うことで今までの使用していたことを思い出しましたが、自己流だったので今回先生の指導で基本マウスを使わない操作が学べてよかったと思います。
- ・ 受講日数がもう少しあれば終了時間を3時頃にし、居残り練習しても4時頃帰宅で暗くなる前に帰ることができて良いと思います。(冬場に限り)
- ・ Excelがよく分かっていなかったなので、仕事をしながら訓練校に通い学ぶ機会があるのはなかなかいいこと。みんなが合格するために先生が時に厳しく指導してくださり本当に感謝。皆さんと出会えて楽しく励ましあい受講出来て良かった。
- ・ 難しかったけど楽しかった。試験だったので時間内にできないところもあったけど、時間をかければできるような問題もあった気がする。もし受かってなくても、自分の意志で続けていきたい。
- ・ 過去に仕事でWordもExcelも使っていたが、今までいかに自己流でやってきたか…ということを感じ知らされた。知らなかったことも多く、パソコンスキルが向上したと実感する。今後はより早く作業が出来るように、学んだことを忘れずたまにはテキストも読み返し原点回帰したい。
- ・ もしこの試験が通ったとしてもこれがゴールではなく、いかにこれからの生活や仕事に活かしていけるかが大事だと思う。学んだ知識を何度も反芻しみずいて自分のものにし、とっさの時に出てくかどうか勝負だと思う。スタートラインにようやく立った。
- ・ 釜石は都会とは違い選択肢が少ないが、このような機会があるのは大変ありがたい。
- ・ 通信教育の学びと違い、仲間が身近にいて、助けてもらったり励ましあいながら学びをすすめることができた。また、疑問質問があれば先生にすぐ聞けて、補講も設けて頂き、大変ありがたい。



PC 講座 試験日 2017/01/18 水曜日

【参加者からの感想】受験者 8名

- ・ ちょうど年末年始で家庭も忙しい時期に講座だったので、ついていくのが大変だったが、何とか最後まで受講でき試験も受けることが出来て良かった。

- ・ 風邪がはやる時期に誰一人休まずみんなで試験を受けられたことが本当によかった。

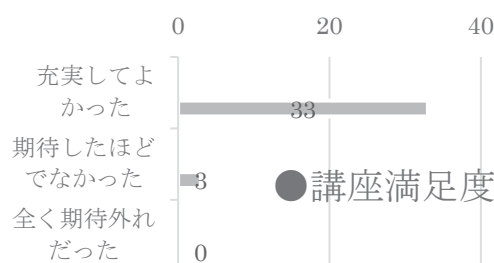
【講師からの感想】

- ・ 通常は 3 か月かけて学ぶ内容を今回特別に 10 日間で合格できるようプログラムを組んで進めてきた。パソコンの公的資格が取れる機会はめったにないので、是非皆さんに合格してもらいたい！という思いから、受講生の理解度にあわせ、本当に大事なことを伝えたのでテキストすべてを網羅して教えられたわけではないが、今回の試験を受けて達成感を感じられた人は、本当に日々努力してきた人だと思う。
- ・ 資格をとれたとしても、今後それをどう生かすかは本人次第である。
- ・ 是非、何度もここで学んだことを思い出し、なにかあればいつでも訪ねてもらえたらと思う。

6. 講座受講者のアンケート結果

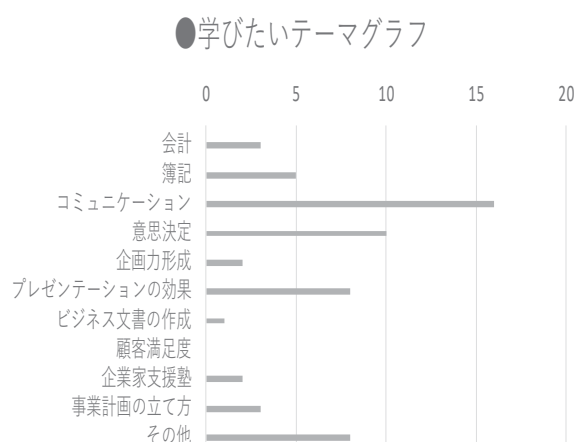
1) 講座の満足度について

かなり多くの方の満足が得られた。期待外れゼロはうれしいこと。しかし、講座が市の広報に乗る時間帯が取れず、結果、PRが不足は否めない。早目の着手と計画的実行が求められる。



2) 学びたいテーマ

人の集うところ、コミュニケーションの世界。職場でも、仕事の 7-9 割はコミュニケーションで成り立つと言って過言でない。断トツに多いのが、コミュニケーション講座、次いで、意思決定とプレゼンテーションと並ぶ。受講生の皆さまは、現場に即対応できる能力＝戦力を求めている。こうしたビジネス・スキルが求められていることが認められた。



7. 支援者養成講座

1) 日時 2017 年 3 月 20 日 (月) 10:30~12:00 場

所 青葉ビル 活動室

講師 山屋 理恵 氏 (インクルいわて) 参加者 7 人

テーマ ・ シングルマザーの現状と課題

・ 子どもの貧困の現状と課題

ひとり親の貧困率は日本が高い。ひとり親（震災前に離婚・被災したわけじゃないひとり親）が被災地では苦しい立場に立たされている。ひとり親に対する支援は包摂された社会（inclusive society）で支援していくことが必要である。インクルでは、子育て支援・就労支援・生活支援の 3 本柱でひとり親を

支える活動をしている。

相談は中々出向くのが大変、サロンのような居場所、皆が集まるところで聞けることが良い。同じ目線で話すことが 2 次被害を減らすために養成講座を終えたスタッフがピアカウンセリングすることは良いことだ。**就労支援**ではリクルートスーツのレンタルを行っている。

非正規就労の人が 4 割を超え、所得格差が付く仕組みに日本はなっている。岩手は DV・性暴力の発生数が高い。岩手のひとり親率は 10%であり、貧困は女性の問題である。

インクルでは、“**子ども食堂**”のチラシは教育委員会・学校・幼稚園すべてに配布、教室に貼ってもらって、いろんなところで開設し、その日に貰った食材で提供している。子どもの相対的貧困率も高い中、親子の力を奪うのは、「生活困窮」と「孤立」であり、親子の力を引き出すのは、「つながり」と「課題を取り除き、誰もが持っている内的な力引き出すこと」である。

・良かれと思ってやっても恨まれたり、心が折れるときもある。時間はかかるが、それでも寄り添い続けることが大事。

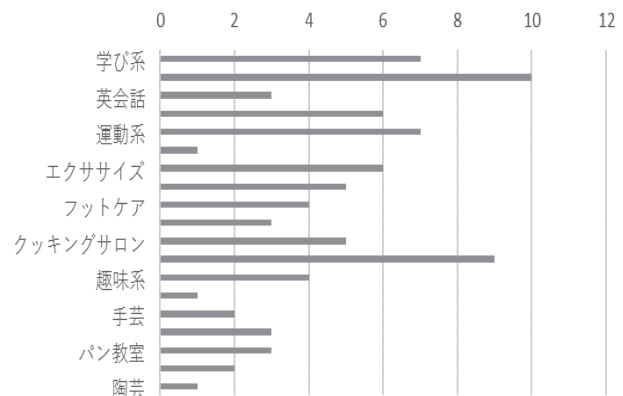
・学びの機会があることが大切。孤立した人にどうやってつながっていけるか。

その場の来ているママや子どもと実際に触れ合って、交流を持ちながら、なにが必要なのか捉えて寄り添っていききたい。

感想

- ・ まだ子育て真っ最中だが、知りたいことを全部聞けて大変勉強になりました。
- ・ いろいろな団体はあるがひとり親に特化して支援しているところはまだまだ少ない。
- ・ うまく制度を活用するとか、現状の制度をつなぎ合わせて支援を行う具体的な例を紹介してもらい、今行っている活動の糸口が見えた気がした。
- ・ 課題を抱えている人がまだまだ多いのに支援者が少ない。手を差し伸べるのに余裕がある人が少ない。今後を担ってくれる人がいないので、育てる必要もある。
- ・ 相談窓口に行くと、一回で済まない。ワンストップ政策が実現できれば本当に良い。ここに行けば全てが分かる、とかだと相談者は非常に楽だ。
- ・ やりたいことをカタチにするのは難しい。やっても人が集まらない、行政とつながるのも難しい。資金集めもなかなか難しい。

●参加してみたい講座



2) 日時 2017 年 3 月 24 日 (金) 13 : 30~15 : 00、場所 青葉ビル 活動室 参加者 6 人

講師 主任相談支援員 大津山 愛児 氏 (釜石市社会福祉協議会 くらし・しごと相談室)

テーマ ・生活困窮者自立支援事業

・ひとり親家庭の相談内容・対応・手当等

見過ごされ、死に迫いやられた母子の問題提起から講座は開始。人と人の繋がりが希薄になっている社

会となり、また、地域や親との断絶などが重なり、SOS に気付かれず母子の死亡と言う悲惨な事実や＝見過ごされた貧困、また相談機関に出向けていけない層もある。生活保護に至らないに至らない前の段階での支援として、生活困窮者自立支援法が制定され、生活保護に至る前の段階からの自立支援が図られるようになってきている。

支援者養成講座で、セルフケアも含んだ養成講座を開設した。支援者養成講座では、「女性の生き難さは個人の問題ではなく、社会の問題でもある」という説明をパワーポイントを使って視点をもって、それぞれの女性の問題解決をより添い型でサポートできる相談員を養成する。シングルマザーの貧困は、次世代を担う子供たちにとって、人間性の崩壊・暴力・無気力・社会への信頼と希望の喪失の危険と背中合わせです。

大人の貧困は子どもの貧困であり、子どもの育つ家庭環境の良し悪しが成長過程に大きく影響し、成長が阻害され、人生が左右される危険が有る。シングルマザーの貧困は、非正規労働の広がりとし別賃金の格差など社会構造のひずみから生まれているもので、個人に問題が有るのではなく、社会経済の構造絡まれているとの分析的に開設戴いた。また、先進国中、日本は高い貧困率であることの状況と併せて、山屋氏の団体の開設の子供食堂から見た子供の状況のほか、大津山氏からは、社会的孤立が母子の餓死を生むと言う悲惨さが有り、地域の崩壊が背景にあること、したがって、みなさんが、シングルマザーの相談が出来るかとの不安を語られたが、ピアカウンセリングと言って、身近なところで相談活動が有ることが大事。分からない点は専門機関に繋げて戴ければ良い。一緒に付いていてあげることで伴走型の支援となり、相談する人の不安も軽減されると、ひまわりでの相談の意義が話された。

感想

- ・ 支援者同士でつながることは大事だと思った。
- ・ 震災後、若い世代の友人がデキコン(できちゃった結婚)で子どもが生まれて不仲になって離婚してひとり親になった。昔より離婚に対する敷居が低くなった気もするが、離婚してみたものの、直面する問題が想像以上に大変だったと聞く。離婚する前や、離婚後の必要な情報はどこで分かるのか。あるいはどこで情報発信などしているのか。
- ・ 生活便利帳が今年改正されるとのことで一覧表をホームページにもアップしてもらいたい。
- ・ 支援するために集まる会議では、だれがイニシアティブをとるのか。包括支援をするうえでも重要になってくると思う。
- ・ 地域とつながりながらみんなで支援していきたい。
- ・ しっかりした専門家でもない自分たちが養成講座を受講した程度の知識で、相談事業を行ってよいのか、ずっと不安だった。
- ・ 専門部署につなぐことが、受益者さんにとって「たらいまわしにされている」と感じてしまうのではないか。

8. 在宅ワーク

取得したノウハウを生かすために、日常、パソコンに触れることが必要でしょう。既に就職されている方は、職場で活かして下さい。

しかし、現在仕事についていない方、子どもや親の介護などでしばらく就職が難しい方には、ひまわりでは、在宅でエクセルに触り続ける環境をと考え、貸与のPCをご用意しています。活用ください。

1) 在宅ワークについて

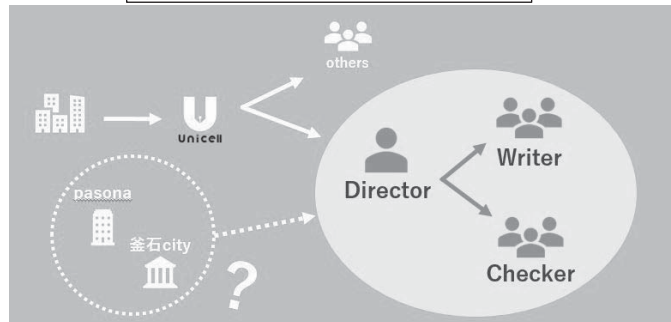
今回、子育て中や介護などで自宅から中々出ることが出来ない女性向けの「新たな働き方改革」による所得向上なども見据えながら、取り組む。

2) 在宅ワークのイメージ・・・多様な働き方を釜石から

業務内容：

データを要望に沿って再現など行う。文字数はA4・1枚から、最大7000文字。OA講座修了者含め、子どもが小さい、あるいは、高齢者を抱えているなどで、外勤できないシングルマザーたちに、在宅ワークを次年度事業化することとして、発注元のディレクターとして“ひまわり”のスタッフが介在し、在宅ワーカー（チェッカー）への技術指導の研修を延べ7日・43時間受講してきた。

在宅ワーク イメージ 1



① 釜石の業務

- ・ データーチェック：チェック表で、コピー忘れなど単純ミスのチェック。
- ・ データーの内容が有っているか、シフトレートの文章が有っているかのチェック。
- ・ ジャンルは4つ（ブログ、電話対応、接客、プレゼン形式）

②在宅業務は、業務委託契約書で、受注者「母と子の虹の架け橋」（週1回作業報告）と業務紹介事業者との法人同士の契約である。給与は個人契約である。

在宅ワークイメージ 2

③その他

- ・ 労働管理：常駐スタッフが必要。
- ・ 実施は2017年度以降の見込。
- ・ 釜石ママハウス・ひまわりには貸与できる端末が、サロン設置
- ・ 分を含めて10台あり、サロンは、在宅業務の場として、“サテライトオフィス”として活用する。
- ・ 釜石ローカルベンチャー事務局とも、都内の在宅ワークとの連携事業を検討中



在宅ワークイメージ 3

3) 工程：

M・・・意味のまとまりで段落を作る。提起〔強く伝えたいこと、話の変わり目〕、アイデアとかオピニオンが見つけられれば。

K・・・段落を象徴するキーワードを一つ書き出す。段落の中のWordを使う。一文にならないように。同じキーワードは無いように！

I・・・アイコンを付ける。段落が文章構造を分かりやすく作業する。



G・・段落を大まかな話の流れでグループにする。

C・・グループに、何について書いているか名前を付ける（カテゴライズ）。提起の中のキーワードが多め。

S・・グループ内の 2 泊 3 日、慣れるまでに 3 か月、キーワードを線でつないで構成する。対案のみ例示のみ

P・・P1 キーワードの重要度を付ける。P2 グループ同士でつなげる。

F・・チェック、コネクターの向き、全体のチェック、解析完成図にする。

ネット利用、メール登録、PC チェッカーはライターの記事をチェックすることで賃金発生。

チェック：文字数、“です・ます”の統一、コピペチェック、ライターの文章チェック、

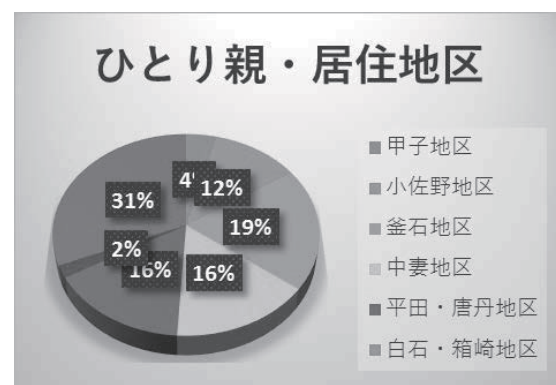
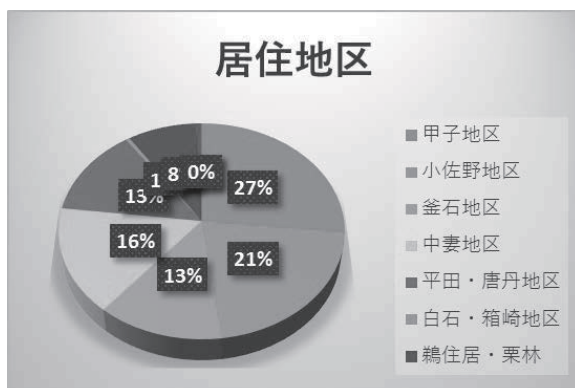
9. ひとり親のニーズをとらえるアンケート調査（調査）について

当初、戸別訪問をして実態をお訪ねして行こうと考えていたが、飛び込みの難しさ・個人情報保護法などの隘路が有り、アンケート対象者を広げ、「子育て世代のママへアンケートのお願い」〔資料参照〕で、市内の保育所・学童クラブ・子育て支援センター等へ配布・回収し、アンケートを実施した。

アンケートは、保育所・学童保育・子育て支援センターの計 17 施設の協力を得て 1168 枚配布し、481 枚回収（回収率 37.8%）できた。アンケートは、対象者の満足度調査で留まるものではなく、調査結果を踏まえた次の事業展開の基礎資料として活用することが、調査研究の意義・目的である。

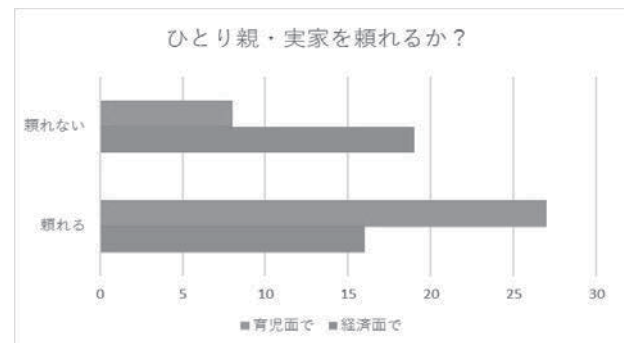
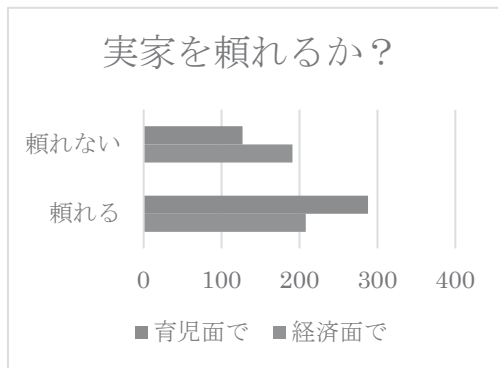
居住地区は、ほぼ“ばらつき”が見られた。なお、保護者には遠野や大槌からの方が見られた。これは近隣市町村からの保育等の施設利用が有ることかと思われる。

アンケートの中は、ひとり親家庭は全体のうちの 36 世帯・9%である。

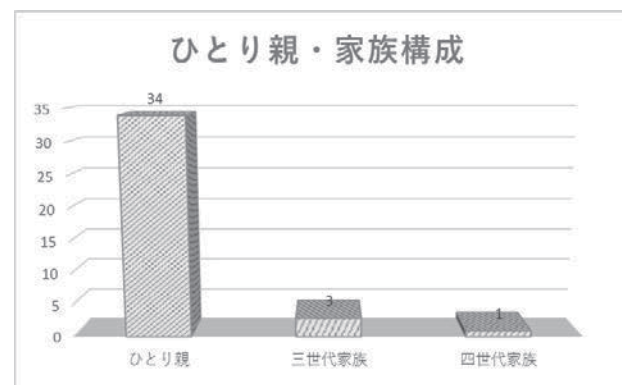
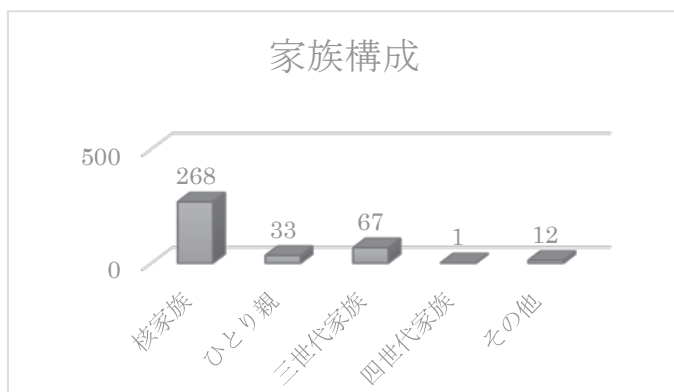
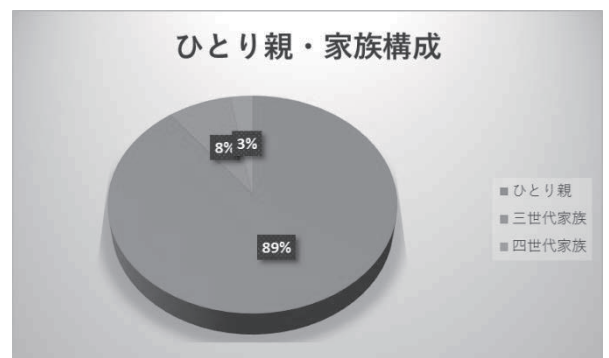
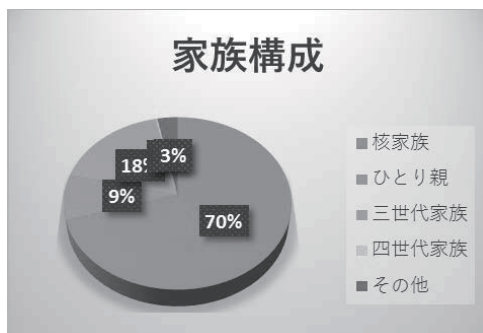


	甲子地区	小佐野地区	釜石地区	中妻地区	平田・唐丹地区	白石・箱崎地区	鵜住居・栗林	大槌	遠野
居住地区	104	83	51	62	52	2	33	2	1
ひとり親/居住地区	2	6	10	8	8		1		

実家を頼れるか否かでは、一般家庭もひとり親家庭でも経済的に頼れる・頼れないの傾向はほぼ同じ。また、子育てであるいは子育てで頼れる・頼れないと言う傾向も、図で見る通り、ほぼ同様の傾向である。



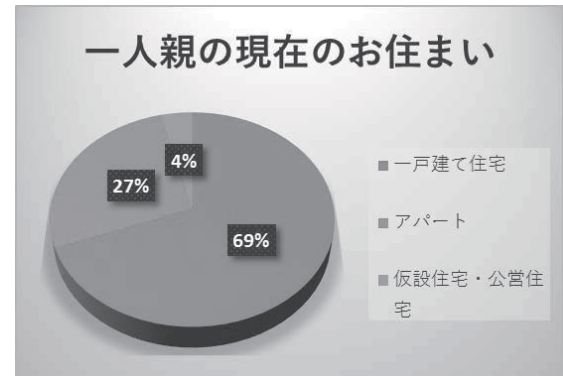
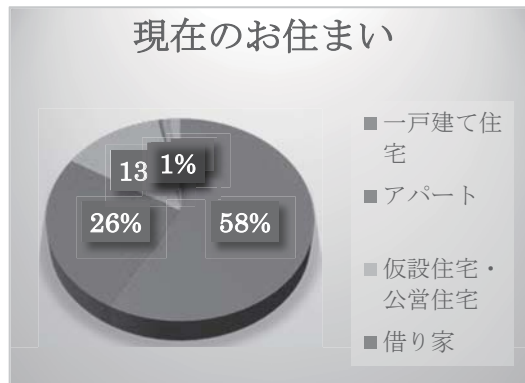
家族構成では、ひとり親家庭の方が、核家族比率が高く、一般世帯の約 20 ポイント近く高い比率構成である。3 世代・4 世代構成もその比率は低く、子育ての支援が家族内で分担できる環境は厳しいことが見て取れる、子育て支援のニーズは高いと推量される。



現在の住まいは、下図のとおりで、一戸建て住居とアパートで全体の 84%を占めている。被災者のみなし仮設としての家賃補助付きもアパートの中には含まれている可能性もあることと、仮設住宅や災害公営住宅にお住まいの方が全体の 60 世帯・13%であるので一概には言えないが、もっと調査客が多ければ、被災前後の子育て世代やひとり親世帯の分布状況の比較から、戸建てと含めた、子育て世代の定着の程度が推測できるのではないかとと思われる。

ひとり親世帯では、戸建て住宅の比率が 10 ポイントも高い。これは、親との同居が背景であろうか？ 仮設や災害公営住宅の居住比率は、釜石のひとり親世帯の統計上の出現率は逆に 9 ポイント

低い。ひとり親の住宅環境は安定しているようであるが、親との同居が背景にあるのかと思われるが、調査客体数が十分でないことを考えると、持ち家比率が高いと一概に言えないと捉えるべきであろう。



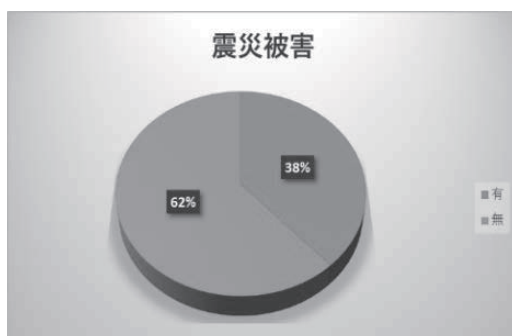
	一戸建て住宅	アパート	仮設住宅・公営住宅	借り家	社宅	その他
現在のお住まい	246	109	59	2	5	6

ひとり親	一戸建て住宅	アパート	仮設住宅・公営住宅
現在のお住まい	18	7	1

震災被害は、下図の通り、被災に遭われた方がひとり親の世帯が若干高く 42%・4 割を少し超している。ひとり親で子供を育てる世帯にとって、子育て支援（保育料の無料化等・・・）は有効かつ必要な措置であったろう。しかし調査客体が限定されていることを想定して見る必要が有るが、子育て世代の若い女性と子どもの定着は、人口減少の著しい沿岸にとっては、この面での施策の充実、市の定着にも貢献していると推量される。

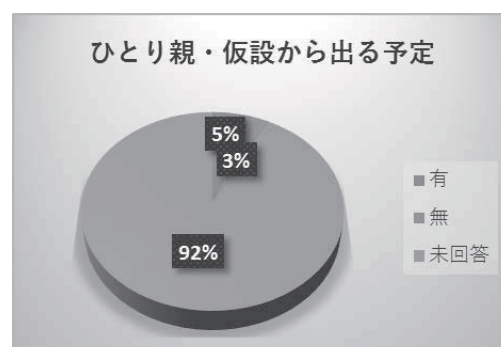
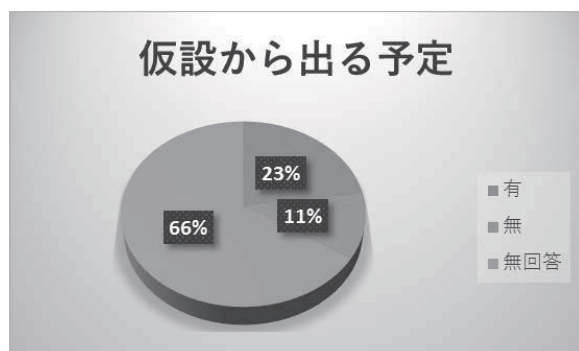
	有	無	計
震災被害	175	281	456

ひとり親	有	無
震災被害	14	19



仮設からの転居予定を見て見よう。一般世帯は 23%が退去予定となっている。しかし、ひとり親家庭は、退去予定はわずか 5%であり、無回答が一般世帯の 66%なのに比して、92%と高率である。

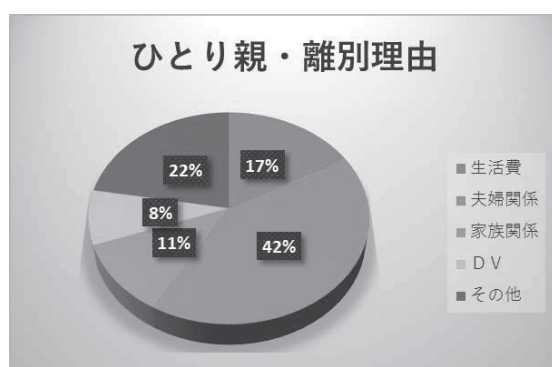
民間住宅は家賃を払うことが前提のため、先の展望が見えづらいことから、仮設を出ることがためらわれているのかもしれない。であれば、仮設から出る予定がないと答えられている方への支援は単なる住居支援にとどまらず、子供の成長への支援として、災害復興公営住宅への転居の誘導など手厚い支援が望まれる。



	場所が決まらない	経済面	未回答	ひとり親	場所が決まらない	経済面	未回答
仮設から出ない理由	2	3	40	仮設から出ない理由			36

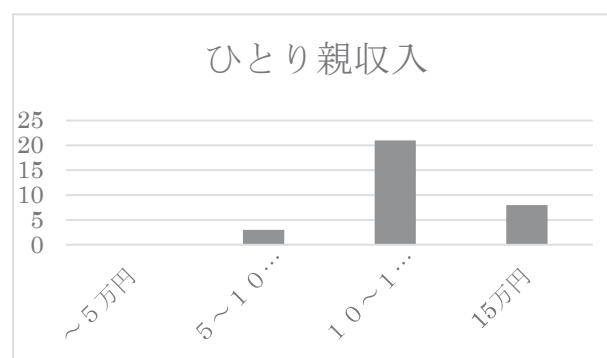
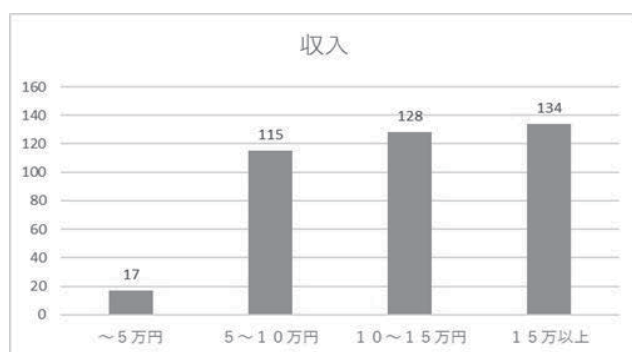
	有	無	無回答	ひとり親	有	無	未回答
仮設から出る予定	16	8	46	仮設から出る予定	2	1	36

離別理由は、夫婦関係 48%・家族関係 12%の人間関係の破綻で、次いで、生活費とDVの問題がそれぞれ 18%・12%となっている。離婚は、身内に問題があることが見えるが、回答の数が少ないので、此处でのデータで言えていることの限界がある。

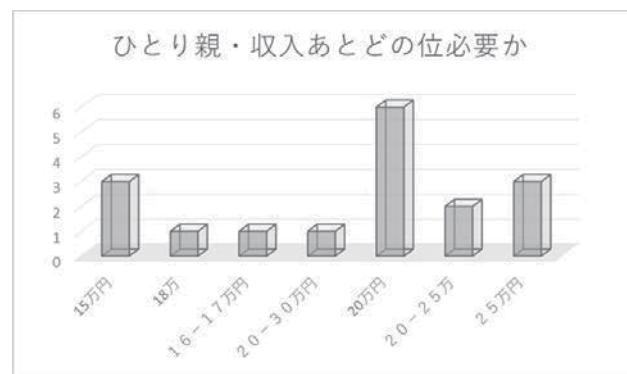
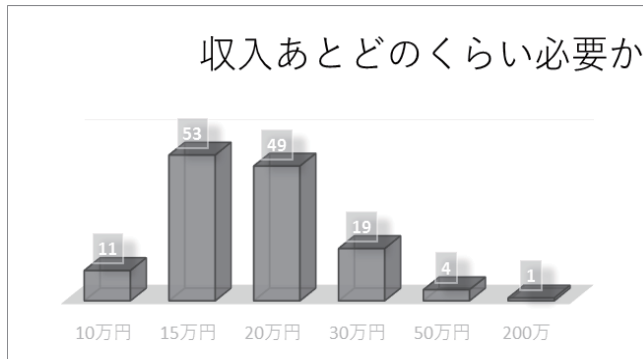


	生活費	夫婦関係	家族関係	DV	
離別理由	0	1	0	0	
ひとり親	生活費	夫婦関係	家族関係	DV	その他
離別理由	6	15	4	3	8

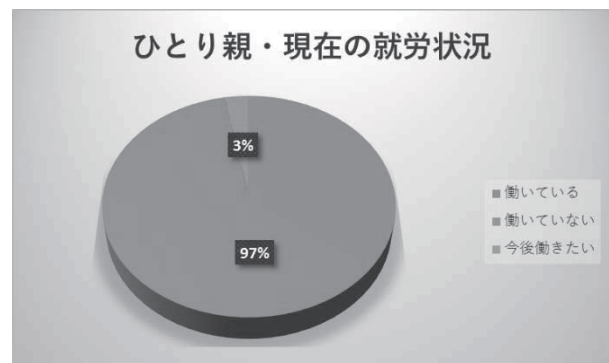
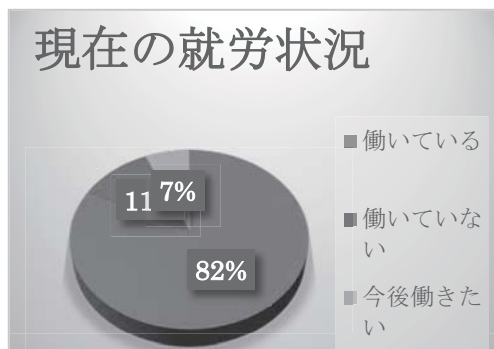
収入については、下記の通り、調査の母体数値では、5万円刻みで設定したが右図の通りである。月の収入が10万円以下と15万円以下がそれぞれ各33-32%、15万円以上が34%となっている。もう少し大きい刻みで調査すれば、所得の分布も開いて見れたかも知れない。いっぽう、ひとり親は10万円以下と15万円以上が極度に低く、低所得であることが分かる。子どもの貧困の多くが、ひとり親家庭と言えていることがこのデータでも読み取れる。



なお、収入が後どのくらい必要かを見ると、プラス 15 万円とプラス 20 万円までが多い。収入は現在のほぼ倍を望んでいることが分かる。一方、ひとり親は、稼ぎ手が一人で低収入であるためか、概して、20 万円以上の比率が高い。これからの住居確保や教育費などの課題を抱える子育て世代では納得いく金額でもあろう。



現在の就労状況を見ると、一般は 82% が就労であるが、ひとり親の家庭では 97% と就労率が高い。

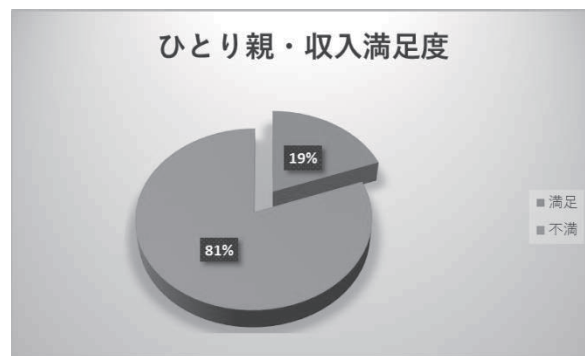
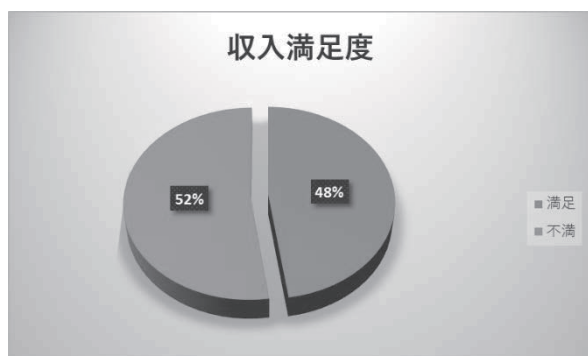


一般の家庭で働いていない理由は下表のとおりで、保育園に入れていない・障がいのお子さんが居る・病気であるなどとなっている。2012 年の「虹の家」で、障がいのお子様が、何処の保育所にも受け入れられ・預けられていない状態が有った。ご家族の要望で、「虹の家」で受け入れた結果、半年余りの保育の中で、当初、子どもとの遊びが展開できていなかったお子さまが集団保育にも適応でき、その後、幼稚園に入園も出来た事例を思い出した。

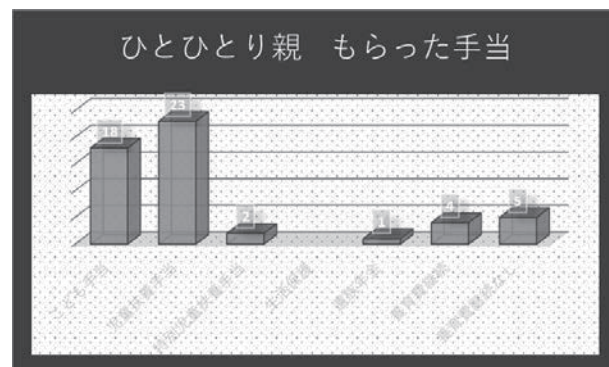
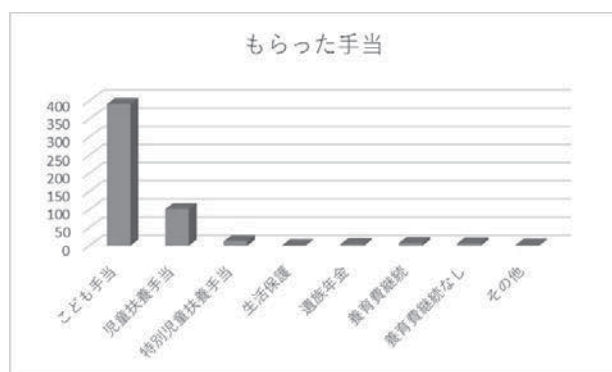
釜石市は、“すくすく”という障がいのお子さんさんの受け入れ施設はある。しかし、障がいの程度や内容にもよると思うが、日々、働きたいママにとっては、保育は必要であったし、適度な刺激の中で育つことのメリットは子どもさんにとって意義は大きかったことを思い出している。

	家庭方針	保育園に入れない	必要を感じない	産前産後休業	育児休業	病気のため	預ける時間が短い	児童館の送迎	障害児がいるため	子どもの世話	母子の体が弱い	1才過ぎてから働きたい	計
仕事してない理由	3	3	3	1	1	3	1	1	1	5	1	1	24

なお、収入の満足度は、一般家庭はやや不満が半数を超えているが、ひとり親は不満が81%と高く、25件占めている。世帯の働き手が一人であることも不満の要因であろう。



貰った手当は、一般家庭は子ども手当、ひとり親家庭は児童扶養手当で、次いで、子ども手当である。



*子ども手当は、子どもの年齢によって異なり、3歳未満児は1万5千円で、3歳以上から中学室までが1万円である。

*児童扶養手当は、手当額（月額）2017年4月改正で、

児童が1人の場合：全部支給：42,290円 一部支給：42,280円から9,980円

児童が2人の場合の加算額：全部支給：9,990円 一部支給：9,980円から5,000円

児童が3人以上の場合の加算（1人につき）、全部支給5,990円、一部支給：5,980円から3,000円。

欲しい支援であるが、妊娠・主産の10か月の母体の変化は、目で見れない程の小さな受精卵が、出産月には体重3キロ・身長50センチ程度と大きくなる。この間のホルモンの分泌等で、ママの体調は劇的に変化している。出産前後のケアは、身近に赤ちゃんが居ない核家族にとっては赤ちゃんという、異星人！？のごとくに、見え、なぜ泣くのか、見当つかない時のパニックは十分理解できる。産前・産後のケアは重要である。この時期が円滑にいかないと、児童虐待にまで行く恐れもなくはない。いくつかの自治体では、産前・産後ケアに取り組まれ、ママの心身のストレス緩和に取り組んでいるところも出てきている。

ひとり親家庭	託児	休日保育	病後児保育	ベビーシッター	婚活支援	相談の場所
ほしい支援	15	17	13	6		1

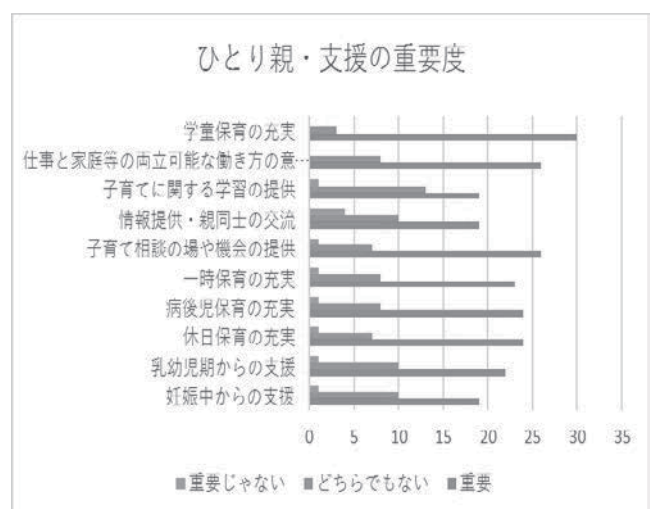
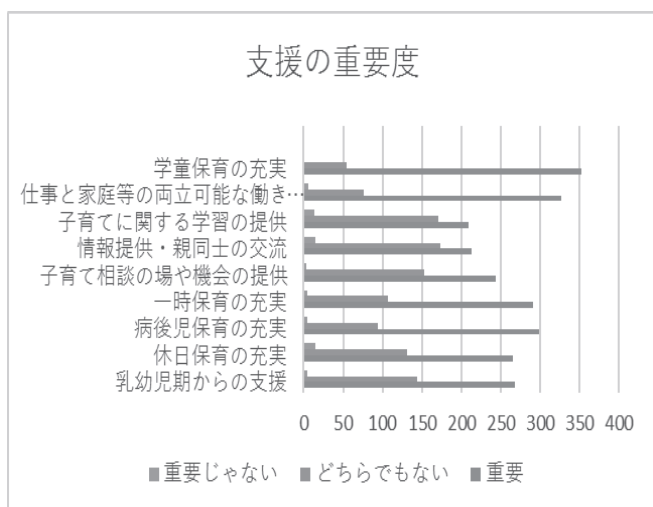
	託児	休日保育	病後児保育	ベビーシッター	婚活支援	相談の場所	子供の病気の時に預かって	公園等遊び場所	未就園児プレルーム	専業主婦への支援	必要なし
ほしい支援	205	228	211	47	11	63	1	1	1	1	1

釜石は、かつて、多世代同居も他の自治体以上に見られたが、震災で、仮設という狭い空間の住居転居を機会に3-4世帯も分離に促進がかかり、最早、同居に戻ると言う動きは見えづらくなっている。この産前産後ケアと、身近な場所にお産できる産婦人科病棟と産婦人科医の配置は、子育ての出発期に欠かせない。一時保

アンケートでは、託児・休日保育・病後児保育のニーズは、ひとり親も一般の母親も子育て世代は重要度は同程度の高率である。

支援の重要度については、分母の母体数は大きな開きがあるものの、一般もひとり親も子育ての項目での重要度に大きな差はない。ことに一番重要としているものが学童保育の充実、仕事と家庭の両立のワークライフ・バランス、次いで、ひとり親家庭は子育て相談の場や機会の提供となっている。子育て支援はまだまだ十分と受け止められていない。ひまわりでは、土・日学童保育への関心と要望の声も聞こえて居る処である。

支援に対するカーブ曲線は、一般とひとり親では子育て手相談の場・親同士の交流を除くと、ほぼ酷似している。



欲しい支援では、託児・休日保育・病後児保育が一般家庭でも99%である。一方、ひとり親家庭では、では、託児・休日保育・病後児保育も比率は高く87%あり、ベビーシッターの要望を加えると98%と、子育て支援には高いニーズが伺える。自由記載を見て見ると、ひとり親家庭では、離婚調停中など離婚が成立していない家庭でも市が行ってる支援（書類提出免除）が求められていることが分かった。

	託児	休日保育	病後児保育	ベビーシッター	婚活支援	相談の場所
ほしい支援	205	228	211			1
ひとり親・ほしい支援	15	17	13	6		1

講座の要望

①親向け講座：

一般のママは、キャラ弁・裁縫・食育など、家庭人としての学び欲求が強く、ひとり親は、やはり時間的余裕がないことが見て取れる。

	内訳未記入	美文字	裁縫	キャラ弁	食育	ネイル	ヨガ	アロマ	スキンケア	メンタルケア	マタニティヨガ	必要なし	マコディネー	医療事務	調理に活かせる資格	メイク	家庭医学	介護	栄養士	調理師	ベビーシッター
親向け講座	172	14	22	26	42	9	27	12	12	8	1	2	1	2	1	14	1	2	1	1	1
ひとり親	内訳未記入	美文字	裁縫	キャラ弁	食育	ネイル	ヨガ	アロマ	スキンケア	メイク	マタニティヨガ	必要なし									
親向け講座	7	1	1	1	3	1	1		1												

②育児方法の学びでは、一般のママは子どもの成長・発達に関わる講座である長所を伸ばす、自己主張できる子、親子片付けや子どものお金の扱いなどここでも多くの欲求が見て取れる。ひとり親の働くママにとっては、仕事と子育てで目一杯で、講座の時間は取りづらいことが見て取れる。尤もひとり親の分母の母体が小さいことも査証して捉えなくてはならないが・・・そこで、ママたちに出会いの場ともなる講座のニーズを以下の通り、育児についての学びと、ママのスキルアップの講座の内容と、親子で楽しめることが出来る講座＝イベントをアンケートで聞いている。働くママにとっては、仕事と子育てで目一杯であり、自分のしたことの時間はとりづらいことが見て取れる。時間が有ったらゆっくりしたい、休み体たいは共感できる。

	長所をのばす	自己主張できる	強い子	親子片付け術	こどものお金	勉強のさせ方	習い事の選び方	いやりのある	父親との関わり方	教育について	必要なし			
育児方法の学び講座	52	21	19	27	19	1	1	1	1	1	1			
ひとり親	長所をのばす	自己主張できる	強い子	親子片付け術	こどものお金	勉強のさせ方	習い事の選び方	いやりのある	父親との関わり方	必要なし	必要なし	内訳未記入	その他	そろばん
育児方法の学び講座	3		1	1	2						1	11	3	1

③子供向け講座・親子向け講座では、親子料理教室、親子ヨガ、ベビーマッサージ、親子記念撮影などが選択されている。母体の回答数の違いも考慮しても、やはり、我が子への学ばせたいものの欲求が一般家庭は高い。ひとり親家庭はお金がかかること、送迎の問題などの要因もあって習わせたいものがあまり上がっていないようである。

	内訳未記入	リトミック	ダンス	英語	ピアノ	体操	水泳	バスケット	テニス	バドミントン	格闘技	休日の遊び方	家での子遊び
子供向け講座	173	26	36	51	25	51	46	1	1	1	1		
ひとり親	内訳未記入	リトミック	ダンス	英語	ピアノ	体操	水泳	バスケット	テニス	バドミントン	格闘技	その他	必要なし
子供向け講座	9	2	1	3	3	1	3					1	1

	内訳未記入	親子料理教室	ベビーダンス	親子ヨガ	ゲームマッサ	親子記念写真撮影	英語	音楽	ボール遊び	将棋	勉強の仕方
親子向け講座	91	30	11	23	13	11	1	1	1	1	1
ひとり親	内訳未記入	親子料理教室	ベビーダンス	親子ヨガ	ゲームマッサ	親子記念写真撮影					
親子向け講座	6	2		1	1	1					

④その他、相談支援については、ひとり親は大きく低いものの、相談のニーズは高い。「花巻ママハウス」では、土曜・日曜の女性相談を実施しているが、ひまわりでも相談が取り組めると良い。今年度の、ひとり親支援講座の中で、スダンニーズ府が高いことが分かるが、担う自信がないとの意見が出た所であった。然し、講師からは、相談のチャンネルは多いほど良いことと、分からなければ、関係機関を紹介したり、あるいは問い合わせしてお応えも出来るだろうから、さほどの覚悟でというの出なく、ママたちの

身近なところに相談できることが意味が有るので、取り組まれると良いですねの温かい助言を講師から頂いた。

	女性相談	不妊治療相談	病気について
その他相談支援	21	1	1
ひとり親	女性相談	不妊治療相談	病気について
その他相談支援	6		

⑤子どもで悩んでいることでは、幼稚園での登園拒否も出され、育児方法や学校についての悩みが比較的多いことが分かる。核家族であり、また地域でのつながりも希薄化して居ることから、育児法・成長発達・学校・苛めの項目で、ひとり、情報過多の情報社会とはいえ、悩む姿が見えている。かつての井戸端会議、今日のサロンの必要性が見えている。また、ニーズ把握では、アンケートの配布・回収も方法であるが、折角の自由記述欄を生かし、ママとNPOとの関係性を深めることをも含め、聞き取りでの記載が優れていよう。

今後の調査の課題だ。

	育児方法	成長発達	学校	成績	いじめ	友達	先生	進路	反抗期	落ち着きがない	勉強	健康	家庭保育したい	習い事	人見知り	生活習慣	人の話を聞かない	父親との関係	その他	なし
子供で悩んでいること	115	49	42	15	4	13	25	0	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	196
ひとり親	育児方法	成長発達	学校	成績	いじめ	友達	先生	その他	なし											
子供で悩んでいること	10	5	14	2	1	2	1	1	7											

その他、感想・ご意見は以下の通りである。パパ・上司世代のアンケートも取ってほしいと言う声が寄せられた。ママハウスでは、以前、釜石市内の事業所の従事者向けの研修ニーズのアンケートを実施して、講座として開設したこともある。

職場で送り出して戴けたのでうれしかったの声が寄せられた。こうしたことなどは、“ひまわり”の次年度の事業として検討したいものである。

その他感想・ご意見の自由記載では、釜石と他都市とのサービスが比較をされていて、他都市並みのものが要望されている。が、具体的には、それが何かが分からないのが残念である。この成果報告書を読まれた方が、「・・・だよ」と教えて下さると有り難い！

【その他感想・ご意見】				
都会とサービスや手当に差がありすぎる				
都会と同等のサービスや手当がほしい				
一人で育てていくのにキツイものがある				
生活が苦しく塾に通わせられないので勉強を教えてくれる場所				
そこに行くだけで親子が笑えればそれでいいのではないのでしょうか？				
専業主婦の方が楽してる				
パパ上司世代のアンケートもとって比較してほしい				
このような支援は必要ない				
そもそも支援じゃない				
どのようなアンケート結果になったのか開示してほしい				

アンケート回収

下記、聴き取り含め、一般427人・ひとり親35人
計462人

配布先	17
配布枚数	1168
回収枚数	462
回収率	39.6%

7) ひまわりサロン等、シングルマザーからの聞き取りアンケート

●相手の給与から養育費を天引きする制度が有ったら利用したいですか？

養育費を離婚に当たって受け取ることの約束が有っても、継続は困難が実態である。そこで、外国では天引き制度で、子どもの成長の保証をする仕組みが有ることから、聴き取りした結果、

- 天引き制度はあって良いと思うが、しかし、現実には、安定した支払い能力のある人にとっては宜しいでしょうが、制度が出来ると、ますます離婚する夫婦が増えるのではないかな？
- 支払いに困窮して鬱になっている父親も居る。
- 離婚に至る以前に、離婚危機にある夫婦に対し、何らかのサポートも必要ではないかな？
- 就労の夫でない限り、天引き制度は絵に描いた餅です。別れた夫の経済的な力に関わらない、児童扶養手当が充実してほしい。しかし、一時、減額された。
- 親だけでなく、子どもに適切な環境を整えるため、こうした制度の充実を忘れてもらっては困る。
- 離婚母子の生活の安定のため、親に一方的な状況で、子どもの未来が遮られることのないよう、養育費を親の義務としてしっかり受け取られる制度も必要だ。

●生活保護の相談をしたいと思ったことが有りますか？

無い・・・収入が有るから。幸い健康で、就労場所が有るから不要。

有る・・・家族に病気が有り、あるいは、母である自分が、健康でないため、仕事に就くことが出来ないの
で、保護は受けたい。

●これまで、金銭面で最もつらかった時の生活を教えて下さい。

- 子どもを高校に入れるのにお金がなく、社協の資金を借り入れた・・・。
- いじめなどで不登校となり、進学できない事例は3件はあった。

●これまでの生活で、辛いと思ったことが有りますか？

- 子供の不登校で死ぬほど悩んで、仕事をするのはつらくて、仕事をやめた方が良いのでは・・・。親子が狭い家で顔向き合わせているより、お母さんは外で働いていた方が、精神的に楽ではないかと思ひ、助言をした。結果、不登校は解決した。
- 不登校の結果、子どもにはその後、パニック障害が出たり、統合失調症による発作を起こしている。
- いじめや学力の低下で、地元の高校に活けず、森尾柏館様の通信制に通学の事例もある。学校から、苛めを無くすべきではないかな？
- 釜石には、フリースクールがない。
- 不登校の子供に対し、大人側が、差別的であるがために、子どもの仲良し集団がなく、その子自体が孤立してしまっている。

●どんな支援が有ったらよかったでしょうか？

- 不登校の子が結構いるようなので、市内にもフリースクールが必要だ。
- 親のプライドを子供に押し付けて、子どもが苦しくなっていることが伺われる。
- 高校生には夜間高校もあるが、行けないでいる様子が伺える。
- 発達障害の子供は、身の回りに数人いる。発達障害の子供の場合、保育所や小学校では加配の先生を置いているが、発達障害の程度もあり、その順応には差が有る。

- ダウン症の子供さんの場合は、穏やかであり、むしろ保育所や小学校で子供同士のやさしさが発揮できている。
- 障がい有る時、働くこととの両立が困難で苦しむ。
- 保育所で見てもらえなかったり、学校でのクラス編成で悩んだり。
- 英語：教材代入れて年間 124,000 円、月謝は 7,400 円、負担が大変だ。
- スポ少：年間でシューズ・ウェア・遠征代込みで 34,000 円、月謝は月 1,500 円で、2 か月ごとに集金（ミニバスケットボール）で、シングルマザーの子は、1 人も参加できていない。
- 遠征や送迎もあり、仕事を抱えていると時間が工面できず子どもの参加はない。
- どの親の子も、気軽に定期的に、例えば、働く婦人の家の体育館や学校の体育館が、一般開放出来ないだろうか。
- 地域型スポーツ少年団の活用はどうなっているか？ 金銭的・時間的理由：照会のパンフレットに記載の月謝が高くて入会無理。
- お稽古に通っていない。スポーツと塾で目一杯。
- 学童保育に通っている。3 年生まで、月額 3,500 円、シングルマザーは 3,500 円。
- 学童保育料は、仙台では学校の空き教室を使っているため、無料。親の負担の軽減と、子どもの学びと遊びの空間は、学校教育の延長として考えられるべきと思うため。無料にすべき。）

🌀進学について

- 本人の希望：4 年生だが、3 年生後半から大学に行きたいと言ってる。
- 親の希望：資格で仕事ができるようにするため、そのための専門学校等（留学含め、大学進学）に進ませたい。

🌀通学状況について

- 友達と居られることを楽しんでる。
- 学力が付いて行かない自分が居る場合、先生の話してることすら分からないところから不登校が始まっているのではないかと考えている。
- 週休 2 日制の学校の時に、土・日も学校が有って学べたらよい。
- 土・日に学習塾があれば、付いていけない子供の学びをフォローすることが必要。
- 東京では、お試して、土曜日学校が行われて居て、子どもも学校に向かい人気がある。
- 不登校の大きな要因の一つに学習が追い付かないことが有るのではないかと。勉強ができないことが、いじめの大金原因になっている。打開を考えるべき！
- 学校にスクールカウンセラーが各校に配置されている。定期的に保護者や子供に対して、申し込みにより相談が出来る制度が有る。知ってほしい、利用してほしい。
- サービス事業についている方の子どもさんのための休日学童、岩手県・母子寡婦協会の派遣サービス（子育て・家事）有るも、あまり利用されていない。利用要件が緊急に限定されているため、急には使えない。むしろ、知られていないことの方が大きい。
- 金銭的負担・会費が有るため・スポ少の練習時間等の送迎などの対応と遠征及び対外試合等の同行の難しさが有る。

🌀今後、【ひとり親家庭に対し】て、どのような支援が有ると助かりますか？

- 家賃補助・日曜（休日学童）

●その他、【ひとり親家庭として】地域や学校に訴えたいことなどありますか？

- 子どもの苛めの無い学校。
- 学校は黙認しないで、しっかり訴えに耳を傾けて真摯に対応してほしい。
- 匿名アンケートを実施し、その後の対応もしっかり行くとともに、定期的に確認フォローし、保護者にも伝えて欲しい。
- 加害者との間の交渉は、該当の保護者を無視して、学校で単独に被害者と交渉しないこと。

岩手県のNPO等による復興支援事業費補助金 事業成果アンケート結果の評価（基準）結果

全体では、1 + 2 = 105 項目が改善した。変わらなかった 22 項目。8 割が改善との結果であった。
アンケートも生活などが改善したかの実利で評価していくことを今後導入していきたいと考える。

1. 改善した (34 項目)
2. どちらかといえば改善した (71 項目)
3. 変わらなかった (22 項目)
4. どちらかといえば悪化した (4 項目)
5. 悪化した (0 項目)

設問1					設問2										設問3		設問4					
性別	年齢	職業	住居	家族構成	①	理由	②	理由	③	理由	④	理由	⑤	理由	⑥	理由	⑦	理由	3	理由	4	理由
女	30代	主婦	自宅	核家族	3		3		2		2		3		2				3		1	託児ありの講座など子供と離れた自分だけの時間を取る事で、リフレッシュになったから
女	30代	主婦	自宅	2世帯同居	2		2		2		2		2		2				1		1	講座を受けましたが、内容がすぐに使えるようなものが多く、また時間が合えば参加したいと思った
女	30代	主婦	仮設・みなし仮設住宅	核家族	3		2		3		3		2		3				2		1	親の交流
女	50代	主婦	自宅	2世帯同居	2		2		2		2		2		2				3		1	子供の交流支援
女	30代	その他		核家族	2		3		3		3		2		3		2	子どもとの接し方	3		1	親の学び・子どもと親の交流
女	40代	会社員／公務員	その他	核家族	2		2		3		2		2		2		1	子どもと接する時の気持ちに余裕ができた	2		1	イベントに参加し、子どもと一緒に楽しめる。研修に参加し、新しいことが学べたり、スキルアップできる。
女	40代	会社員／公務員	仮設・みなし仮設住宅	核家族	1		1		2		1		2		2				2		1	親と子の遊び場
女	20代	主婦	災害公営住宅	核家族	2		2		2		3		2		2				2		1	スキルアップ講座
女	30代	その他	その他	核家族	3		3		3		3		3		2							
女	50代	主婦	自宅	3世帯同居											2				1		1	色々な方と話が出来て、お友達が出来ればうれしいです。
女	30代	その他	自宅	核家族	2		2		1		2		2		1				4		1	無料で講座が受けられる。知らない知識(法的手段)が知れた。
女	40代	その他	仮設・みなし仮設住宅	核家族																	1	講座の種類が豊富で楽しく、参加しやすい
女	30代	会社員／公務員	自宅	核家族													2	専門知識を得ることができた			1	希望に合う支援内容があれば受けたい
女	30代	その他		核家族	2		1		2		2		1		2				4		1	イベント
女	60代	主婦	仮設・みなし仮設住宅	2世帯同居	2		2		2		2		1		1				4		1	親同士の交流
女	40代	主婦	自宅	3世帯同居	2		2		2		2											
女	30代	その他		核家族	1		1		2		2		1		2				4		1	イベント・クッキング・リラックス
女	40代	会社員／公務員	災害公営住宅	2世帯同居	2		2		2		2		2		2				2		1	資格取得講座
女	30代	主婦	自宅	核家族	2		2		2		2		2		2				3		1	子どもの遊び場、施設利用のできる所があれば教えて欲しい

第3部 小規模保育所

1. 子育て支援と待機児対策

子育てと仕事の両立支援、多様な保育サービスの充実など社会全体で子育てを支援する必要性が高まっている中、釜石市でも平成24年8月から、国の子育て新支援政策に沿った小規模保育事業を開始した。保育従事者は、国の定める「保育者養成講座（基礎講座・現認研修）」を受講し、市長から修了証を得た保育従事者が保育の担い手として開設した。

「ベビーホーム・虹」及び「虹の家」は、震災以降、子供を預けて働く乳幼児を育てるママの就労意欲が高まり、待機児が累積していったことが背景にあり、「母と子の虹の架け橋」では、市からの受託として3歳未満児の保育を小規模事業C型（ベビーホーム・虹）とB型保育所（虹の家）を運営している。

2. 保育の姿勢

- ✧ パパ・ママ達の就労等を応援すると共に、安心して子供を預けられるよう、一人ひとりの子供を理解し受容することにより、子供との関係を深め、保護者・子供両者との信頼関係構築に努めている。
- ✧ 一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図り、未来をひらく子どもたちを豊かに育てている。
- ✧ 年齢に応じた育ちの発達のため、保育士・看護師及び家庭的保育者が一体となって保育している。
- ✧ 保育の提供にあたっては、子どもの最善の利益を考慮しその福祉を積極的に増進するため、子どもの意思及び人格を尊重した保育を提供している。
- ✧ 子どもの家庭及び地域に開かれた保育を行い、県・市・小学校・他の特定教育・保育施設・地域子どもの子育て支援事業を行う者・他の児童福祉施設その他の学校又は保健医療サービス若しくは福祉サービスを提供する者と日頃から地域連携に努めている。

保育体制： 保育士や看護師スタッフのほか、市の認定保育者が、0歳児にはお子様3人に対し保育者1人、1歳以上は6人に対し保育者1人の体制で、ワンフロアで目の届く中できめ細かな保育を可能にしている。

開園時間： 月～土曜日 7時30分～18時30分

対象： 生後8カ月～2歳児

定員： C型小規模保育所→15名（ベビーホーム・虹）
B型小規模保育所→16名（虹の家）

3 保育の目標・・・一人一人の個性を大切にする保育

- 1) 友達がいって、大好きと言い合える保育者との、あたたかい関係があって、保護者と保育者は信頼関係のもと、心やすらぐ環境の中で、『自分を信じ、自分を愛せる子ども』、『人を信じ、人を愛せる子ども』に育てる。
- 2) 子ども・ママ・パパたちの笑顔が輝くよう応援し、未来をひらく子どもたちを豊かに育てる。
- 3) 一人ひとりの幸福を第一に考え、保護者とのパートナーシップの下、年齢に応じた育ちの発達のため、保育士・看護師及び家庭的保育者が一体となって保育する。

- 4) 保育の提供にあたっては、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するため、子どもの意思及び人格を尊重して保育を提供するよう努める。
- 5) 「虹の家」は、家庭及び地域に開かれた保育を行い、県・市・小学校・他の特定教育・保育施設・地域子どもの子育て支援事業を行う者・他の児童福祉施設その他の学校又は保健医療サービス若しくは福祉サービスを提供する者と日頃から地域連携に努める。

4 「ベビーホーム・虹」・「虹の家」の保育活動

ベビーホーム・虹の保育体制は、小規模保育C型に則った1対3・保育従事者1名に対して子ども3名であるが、市の認定を受けた認定保育従事者の他に、保育士と看護師も加わり安全・安心の保育に努めている。保育時間は、月曜日～土曜日までの7時30分～18時30分までである。

開所したH26年8月の保育状況は、1歳児2人と2歳児1人の計3人からの出発であったが、H27年3月以降は、常時定員15人枠が全て埋まった状況である。（開所時の8月は、保育従事者が慣れていないことから、従事者側より市にお願いして3人としてもらった。）

また、H29年3月現在の保育状況は、0歳児4人・1歳児6人・2歳児5人となっている。

ベビーホーム・虹の子ども達は、0歳から2歳までの子どもの保育であり、月齢・年齢的には身体的行動力が大きく異なる。しかし、保育室が1室であることから全員が同室での生活であるため、注意深く見守るよう努めている。また、それはお散歩でも同様である。

保育室が1室であることは、年齢別に区別できない難点ではあるものの、2歳児が0歳児の面倒を見たり、0歳児が2歳児の行動を真似てみたりと微笑ましい光景を目にすることも多々あり、現状での保育状況で良い方向に保育できればと考えている。

ベビーホーム・虹では、四季問わず子供たち全員裸足で1日を過ごす。また、0歳児から2歳児までとお散歩の様子は様々であるが、その子どもに合わせて雨・雪以外なるべく行うようにしており、抱っこをせがむ子もいるがなるべく自力での歩行も促し、体力づくりや発達の手助けになるよう努めている。

1) 基本的な生活スケジュール（ベビーホーム・虹、虹の家 共通）

子どもの生活リズムを大切にしながら、保育を行っている。

7 : 3 0	登園して直ぐに検温
	自由遊び・読み聞かせ・時々音楽教室
9 : 0 0	トイレ誘導・おむつ交換
9 : 3 0	朝の会・おやつ・水分補給
1 0 : 0 0	お散歩(自由遊び)
1 1 : 0 0	昼食



いざ、避難訓練 ベビーホーム・虹

1 1 : 3 0	トイレ誘導・おむつ交換・お昼寝
1 4 : 3 0	トイレ誘導・おむつ交換
1 5 : 0 0	おやつ・水分補給・帰りの会
1 5 : 3 0	自由遊び
	順次降園



虹の家 プランター

2) 保育の成果

① 小規模集団の異年齢保育

子どもの、脳神経細胞の発達著しい3歳未満児の保育には、異年齢の小規模集団保育環境は、模倣が行われやすい。生活と遊び・学びが混在一体とした乳幼児保育では、模倣の果たす役割・刺激は大きい。

保育室は1室であることを活かして、子どもたちの成長と発達の一人一人の状況をしっかり観察できる。また、一人、一人の興味・好奇心を阻害しないよう、見守りと適度な刺激を与える保育を行っている。決まったプログラムを実施するだけでなく、子どもたちの興味に応じ、その日の活動を臨機応変に変更している。

結果、2歳児が0歳児の面倒を見たり、1歳児が2歳児の行動を真似てみたりと微笑ましい光景を目にすることも多々あり、刺激された発達も見られる有意な保育が出来ていることも特徴である。異年齢の保育の特性をいかに発揮した保育である。

② 自然保育

「虹の家」では、四季問わず子どもたち全員裸足で一日を過ごす。また、0歳児から2歳児までのお散歩の様子は様々であるが、その子どもの体力などに合わせて悪天候以外なるべく散歩に出ており、光・風・土に触れる自然と遊ぶ保育を心がけ、抱っこをせがむ子もいるが無理のない範囲で自力での歩行も促し、体力づくりや発達の手助けになるよう努めている。

③ 年齢別発達課題と成果

☆0歳児から1歳児の保育

- ・ 一人一人の子どもの生活リズムを大切にしながら、眠いときは安心して十分眠ることが出来るように配慮している。
- ・ 寝返り・はいはい・お座り・伝い歩き・立つ・座るなどそれぞれの状態にあった活動ができるよう安全に配慮し、手助け・見守りを行っている。
- ・ 遊びにおいては、個人差が大きい時期であるため、一人一人の子どもの発育・発達状態をよく把握して、子どもの興味・意欲を大切にしながら見守っている。
- ・ 母親から離れる際、不安で泣いてしまう子もいるが、保育者は、おんぶや抱っこをして、時間をかけて安心して過ごせるよう配慮している。
 - ・ 昼寝、食事、排泄等個々の生活リズムが違うため、その子に合った対応を常に心掛けている。又、一人一人の欲求を十分に満たせるよう援助する。
 - ・ 虹の家で「初めての一步」を見たり、小さな歯が生え、給食も離乳食から幼児食へと変わ



るなど、目覚ましい成長が嬉しい。

- ☆ 1 歳児
 - ・ 手洗い→おやつ、給食→午睡等、虹の家での生活リズムを身に付ける。
 - ・ 二語文を上手に使い、友達や保育者とのやり取りを楽しむ。
 - ・ 異年齢集団を生かし、自分より小さい子を可愛がったり、手をつなぐなどの自然な芽生えを生まれている。
- ☆ 2 歳児
 - ・ 衝動的な動作が多くなるので、子どもの行動に注意しながら楽しく過ごせるよう配慮している。
 - ・ 子ども同士のけんかが多くなるので、お互いの気持ちを受容し、分かりやすく仲立ちをして、他の子どもとの関わりを知らせるようにしている。
 - ・ 子どもが、楽しみながら全身や手を使う活動が出来るように配慮している。
 - ・ 家庭と連絡、協力しながら、トイレトレーニング
 - ・ を行っている。
 - ・ 自己主張や反抗期も成長の過程として、その思いを受け止め寄り添い、時に相手の思いを伝えながら、日々保育に努めている。
 - ・ 季節ごとに製作に取り組み、様々な素材に触れ、豊かな感性を伸ばせるよう活動する。

☆ 全年齢を通して

- ・ 室内外の温度・湿度に留意して、子どもの健康状態に合わせて衣服を調整するようにしている。
- ・ 一人ひとりの子どもの健康状態を把握し、37,5度以上時は保護者への連絡を行っている。
- ・ 一人ひとりの子どもの心身の発育や発達状態を把握するよう努めている。
- ・ 基本的な習慣については、それぞれの家庭の方針に沿って行っている。
- ・ 子ども達の、睡眠・食事・遊び・排泄の生活リズムを大切にしながら安心・安全な環境の提供を心がけている。
- ・ 子ども達の「やってみたい」を大切に、園での生活がワクワク・ドキドキする保育を実践している。

④ 日中の生活

- ・ おやつの後、大型絵本や紙芝居などの読み聞かせのほか、誕生会などでは、保育者手作りのペープサートなどでお話を楽しむ。
- ・ 手遊びの歌、季節の歌、アンパンマンの歌など、子どもの興味を持つ歌を保育者のピアノの伴奏で、音楽を楽しむ。
- ・ 子ども達の登園時には保護者とのコミュニケーションをとり、降園時にも今日の一日の子どもの様子や変化などを話しながら、保護者との信頼関係を築いている。

⑤ 保健

＜1＞健康面

体温，顔色，排泄状況などの観察を行い、個々の体調を気遣う。

＜2＞感染症対策

- ・市内保育園の感染症状況を把握し、保護者に動向を知らせる。
- ・感染症発生時は集団感染を防ぐため普段に比し、早めの対応を心掛ける。
- ・日々、おもちゃ，床，机，椅子等 塩素系消毒液で掃除を行う。

＜3＞怪我などの応急措置

- ・傷のない軽いもの（打撲等）に対しては、昔ながらの栃酒を付ける。
- ・傷のある軽いもの（擦過傷等）に対しては、薬品を使用せず清拭のみとし、程度によってはラップで覆う。

＜4＞手洗い，うがいの指導

- ・手洗い…爪の間を洗う時には『ガオー』の手でと教えている。
- ・うがい…『ガー』『オー』と言って喉の横側と縦側を洗わせるよう指導している。

インフルエンザシーズンは紅茶を使用。

- ・預けられた当初、泣いてばかりいた子も笑顔が多くなり、自分の興味あるものを積極的に示すようになっていく。
- ・お散歩では、度々抱っこをせがんでいた子が、今では喜んで自力で歩いている。子ども達はみんな、お散歩が大好き。
- ・お散歩に出かけると、近所のおじさんやおばさんがよく声をかけてくれる。手を振って下さったり、駆け寄ってくれる方もいられる。子ども達は、地域に温かく見守られ愛されている。
- ・おやつ・昼食時は、子ども達がきちんと座り、挨拶ができていく。
初めは立ったり、挨拶もできない子がいるが、集団の中で徐々に身につく環境にある。
- ・0歳から2歳までの子どもが1室で過ごしているため、発達状態・行動範囲・興味のあるもの・生活リズム等それぞれ異なっているが故に、月齢の大きな子の動作が刺激となっており、全く動けなかった子が伝え歩きするようになったり、歩けるようになったり、お話ができるようになったり、食事が上手くできるようになったりと、子供たちの成長は著しい。

☆保育者や友だちとの触れ合い、安定感を持って生活できている。

声がけ、笑顔、聴き取り→意思の疎通

抱っこ、おんぶ、手をつなぐ、視線の高さを合わせる→スキンシップ

表情の読み取りや、泣き声の違い、子どもの気持ちの代弁者となる→信頼感・安心感を育む。

☆色々な遊びの中で十分に身体を動かす。



嘱託医（平野先生）健診

ボール遊び、ロディ乗り、ライダーごっこ、CDに合わせてのダンス、手遊び、絵本、お絵かき、歌、保育者と組体操等々の日常的な遊び



五感の発達や体力がつく！バランス感覚。

好奇心や順番を守る。やさしさ、思いやりといった

心の成長も得られている♡

☆進んで戸外で遊ぶ

公園など安全を確保された中で遊具も使い自由に遊んだり、植樹された木の実や草花をつみ取ったり自然ともゆったり触れ合える。

この時、保育者は、一人ひとりの発達状況ごとの確認、発見の多い機会でもある。手をつないでの移動なので、スキンシップもはかれ、会話ははずむ。

ご近所の方々も子どもたちに、「行ってらっしゃい」と手を振って下さり、声をかけて下さる方が年々増えている。日中なので、お年寄りが多く、挨拶を交わしたり、お話ししたり、子どもたちの表情も明るく、優しく接している姿が見られる。



近くの川沿いの散歩

戸外での遊びや活動、五感の発達も促され、開放感、充実感を得られている。団体行動や社会のルール・交通ルールも学んでいる。従来の中にも季節を感じる草花や汚しながらの夏、雨あがりの緑に雨のしずくをキレイと話したり、秋の色づいた葉や木の実ひろい、雪玉を作ったり、道端の氷も全てが遊びで、学びとなっている。

3) 音楽の刺激・・・ピアノで遊ぼう

《ミュージック虹》

月に1度、佐々木美佐子先生やミュージックグループ「虹」の方々がいらして、ベビーホーム・虹及び、虹の家に、音楽ボランティアとして、①リズム遊び、②絵本の読み聞かせ、③手遊びなど、毎月1回、行って戴いている。

年度の初めは、美佐子先生の顔を見ているだけだった子ども達も、徐々に音楽の楽しさに触れ自分を表現するように変化し、もうじっとしている子どもはいないほど、音楽が子供たちに浸透している。

毎月子ども達も楽しみにしており、音楽を通して、保育者も子ども達の成長を感じることが出来る時間となっている。



5. 乳幼児の食事

(1) ベビーホーム・虹

平成26年10月より、月・火・水が週3日、農家レストラン・こすもすさんよりお弁当給食、木・金が天然素材にこだわったパン給食となっている。お弁当は、薄味・野菜をふんだんに使用し、なるべく噛みごたえのある食材など、こだわりを持って関わっていただいている。初めは、自分の大好きなものばかり入っているお弁当とは違い、なかなかご飯が進まかったのが現状だったが、午前中のおやつを少なくし、なるべく体を動かしてお昼まで過ごすことなど試行錯誤した結果、今では子どもたちがみんなお弁当給食を楽しみにしており、ほとんど残すこともなく食べられるようになった。

今の社会では、ファーストフード・柔らかい食材・添加物・農薬などが当たり前の環境の中、食べるもので身体が作られ、これから成長する子供たちにとって体に良い食事となり楽しいお弁当給食になっていると感じる。また、「ベビーホーム・虹」の給食を通して、各家庭の食のあり方も振り返ることができればありがたい。

子ども達に食べることへの興味や関心を持たせるよう、行事食や食に関する絵本・手遊び等を用いながら、食を楽しむ心も育くんでいる。

(2) 虹の家・・全面、自園内給食実施。

- ・ 創意工夫のもと食育を推進し、保護者には食生活に関する相談・援助・体験の機会をつくる。
- ・ 「楽しく食べる子ども」にするため、食事は楽しいものだということを体験し、食事時間が空腹で迎えられるように、睡眠・食事・遊び・排泄の生活リズムを整える。
- ・ 自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちを育む。
- ・ 乳幼児期は安心とやすらぎの中で「食べる意欲」作りの支援を行う。
- ・ 登園から降園までの一日を遊び・食事・排泄・睡眠の時間を決め生活リズムを整えている。
- ・ 食事は薄味を基本として、年齢別に食べやすい大きさや柔らかさに気を配っている。
- ・ 天気の良い日はできるだけ散歩に出て、昼食をしっかりと食べ午睡に入りやすい環境作りをしている。
- ・ 色彩りを考え、目で見て食欲をかきたてる工夫をしている。
- ・ 虹の家から保育園・小学校へと上がっていても食べられない食材が少なくなるように味付けや調理法も工夫している。
- ・ 時節や行事に合わせたメニューを考え、出している。
- ・ 保育者が検食をし、意見交換している。
- ・ 完食できた事の喜びを味わえるよう、保育者が常に声かけをしている。
- ・ 「～できないよ」というような否定の言葉ではなく「～できるよ」と肯定の言葉で子ども達を導く努力を重ねている。
- ・ 子どもの苦手な食材を避けて出さないのではなく、形や調理法に変化をつけて出している。



- ・どうしても食べられない時は強制しない。後で、保育者間で話し合い、次回の課題として取り組んでいる。
- ・プランターでミニトマトを育てて給食に提供したり、散歩途中で見つけたきゅうりやナスを見せて、食に興味を持つように話しをしている。
- ・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶は、上手にできなくても0才児から行っている。

6. 避難訓練の実施

① 28年度避難訓練実施計画・・・虹の家

* H28・11月17日

参加者	保育者6名 園児11名
内容	参加の子どもは、8名とほぼ半数であったが、地震を想定した訓練は行っていなかったため本日施行。2歳児は、机の下に誘導。動きを説明しながら行動するようにした。外に出る時に防災頭巾を全員にかぶせ、ドアを開けて靴を履きおんぶ（1名）した子の他は、1人～2人と保育者が手をつなぎ、騒ぐこともなく婦人の家まで移動した。
結果	机の下に逃げる2歳児の他は、0歳児をおんぶするが子どもをまとめるのが難しいと感じた。防災頭巾は初めてのため、最初かぶせてもとってしまう子どもが多かったが、外に出る時にかぶせると全員がかぶることができた。移動時は、上手に手をつなぎ静かに保育者の誘導通り移動できた。
今後の留意点	机の下に2歳児以外、室内では蛍光灯の落下や破片など危険が予想されるため、蛍光灯のついていない出入り口の空間に集合させてみようという案が出た。何度も繰り返し訓練することで、子ども達が動けるよう、また、防災頭巾にも慣れてもらうよう今後も続けて行く。

* H28・12月9日

参加者	保育者6名 園児11名
内容	4名欠席のため、子ども11名保育者6名で水害「川の氾濫」「ダム崩壊」等を想定しての訓練を実施。子ども達には、訓練前に説明をした後に行った。正面玄関～園舎北側路地～婦人の家の経路を移動。おんぶ3名とその他8名は保育者と手をつなぎ、速やかに移動した。

結果	普段のお散歩の要領で靴を履き、保育者と手をつないでの移動には子ども達も不安な様子も見せず、速やかに行動できた。婦人の家の2階に上がる際、階段の多さや高さを考えると、水害の状況によっては抱っこで上がる必要も出てくることが考えられる。
今後の留意点	訓練当日は晴れていたが、雨天時の避難となった場合には、雨合羽が必要ではないかという意見が出た。避難待機場所として、和室を提供していただいていることに安心できたが、2階にはトイレがないため、1階が浸水した時の対処法を確認しておく必要があると感じた。

虹の家では、地震・津波・火災・近隣火災・不審者等を想定した避難訓練を年間計画書に基づいて毎月実施している。実施後は職員間で反省会を行い、「避難訓練記録」に記載し、良かった点・反省点を次回にも生かせるようにしている。

平成28年11月18日には、消防署員立合いの訓練を実施した。当日の参加は、職員7名 子ども15名で、給食室からの出火で行なった。初期消火や消防署への通報、同時に子ども達の誘導・消灯・最終確認から避難までの様子を見て頂いた。その後は、子ども達が見ているところで消火器の使い方を指導して頂き、水消火器での訓練を実施した。

《訓練の成果》

消防署の方がいらしたことで、子ども達も何時も以上に緊張感を持って参加することができた。消防士さんのお話も静かに聞く姿もとても良かった。室内の点検もして頂き、指摘されることも無く安心した。



② ベビーホーム・虹

月	災害種別	ねらい	想定	避難場所	実施内容
7月 (すくすくと合同)	火災訓練 (消防署)	○火災報知器の音を覚える。 ○指示に従い避難する。	玄関側の向かい家から火災が発生 玄関側からは、避難ができない。	婦人の家	○午睡後、火災報知器が鳴ってから、焦らず指示とおりに避難する。
11月	震災訓練	○防災頭巾の使い方を知る。	午前中の自由遊び時間に、地震発生	婦人の家	○地震時の避難誘導體制を知る。
12月	風水害訓練	○水害避難が初めてのため、あわてず、迅速に行う。	川の氾濫の危険があるとし、午前中の自由遊び時間に避難	婦人の家 (2階)	○風水害が初めてのため、どうすればよいか避難方法を考えながら行う。
1月	震災訓練	○防災頭巾の使い方を知る。	おやつ終了時、地震発生	婦人の家	○2歳児と0歳児・1歳児と保育室で誘導する。 ○防災頭巾を被せ、避難を行う。

2月 (すくすくと 合同)	火災訓 練 (消 防 署)	○通報の仕方を 午前中に、火災発生 知る。 通報、すくすくへの呼びかけ ○不意の火災に 保育室への呼びかけ 対しあわず、 落ち着いて避難 を行う。	婦人の家	○消 防 署 へ の通報 ○避難を呼 びかける。 ○誘導に従 って避難す る。
---------------------	------------------------	--	------	---

7. 保育参観

① 保育参観 「虹の家」

平成28年11月26日

7月からB型に移行した虹の家の保育参観：参加者 父兄14名 子ども11名

当日は、登園後親子で松ぼっくりのクリスマスツリーの製作。親子でお話しながら仲良く製作する様子はとても微笑ましかった。普段のおやつを食べている様子や朝の会の雰囲気も見て頂き、お家の人の笑顔もみられた。また、子ども達の大好きなミニパンもおうちの方に試食して頂いた。

親子ヨガ（講師 保坂広子）は、子ども達が飽きない内容で、親子でスキップを取りながら、楽しんでもらえた。おうちの方も「体がポカポカして気持ちがいい」「子どもと楽しい時間を過ごす事ができた」等、嬉しい感想を頂くことができて良かった。



② ふれあい保育参観「クリスマス会」の実施 ベビーホーム・虹

実施日 H28・12月11日

場所 ベビーホーム虹室内・すくすく教室内ホール

子ども達の様子を知って戴くこと、親子で楽しんで戴くこと、普段の関わりを見て戴くことを目的に保育参観を実施した。

2歳までの子ども達ということもあって、普段からやっていて大好きな「アンパンマン体操」を見ていただいた。当日は、朝の会から子ども達は落ち着きがなく、保護者から離れない子もいたが、お当番の子は頑張ってあいさつをし、普段の朝の会・おやつの様子を見ていただくことができた。



ホールに親子で移動してもらい、子供たちはアンパンマンの顔を貼った帽子をかぶり、曲に合わせて保育者と一緒にアンパンマン体操を行った。曲がなくてもなかなか体が動かなかったり、保護者の方ばかり見ていたり、保護者にくっついて離れなかったりといつもより踊れていない様子となったが、それでも可愛い子供たちの姿は保護者には伝わったようだった。その後、保護者にも一緒に参加してもらい「エビカニクス」を踊った。保護者もほとんどが参加してくれ、かなりハードなテンポでも子供・保護者・保

育者と一緒に踊り、時間を共有できた。読み聞かせをしてお部屋に戻り、帰りの会の後サンタクロースに扮した保育者から、一人一人プレゼントをもらって降園となった。

保護者が一緒だとやはり、子供たちの普段の姿を見せるということが難しくなるが、朝の会・おやつ・お当番・帰りの会が実際どのように行われているのか、また子ども達がどんな様子なのか、保育者がどう子ども達に関わっているのか、短い時間だったが感じてもらえる機会になったと思う。



8. 地域連携

普段の散歩コースの中に、犬を飼っているお宅があり、子ども達の声がすると犬を見せていただいたり、また小鳥小屋も近くにあり色とりどりの小鳥や鳴き声を楽しませてもらっている。

平成 28 年 8 月の台風の被害から、水害・土砂災害の避難場所として、2 階のプラネックスさんにご協力頂き、避難訓練に使わせていただいた。また、節分にはセブンイレブンさんより鬼の塗り絵を依頼され、子ども達の塗り絵がお店に展示され、多くの父兄にも喜んで頂いた。

散歩の際は、近所の方に会うと保育者と一緒に元気よく「こんにちは」と挨拶をする子ども達に、優しい眼差しで声をかけて頂き、嬉しく思っています。

近隣の皆さんとの関わりや、人とのつながりを大切にしていきたい。



いわて子育てネットさん来園

2 月 1 5 日 子ども 1 4 名 職員 7 名

昨年の保育参観でお世話になったことから、本年度も連絡を頂いた。保育参観は終了していたので、親子向けの内容をわらべ歌を使って小さい子でも楽しめる内容に変更して頂いての開催だった。0 歳児は人見知りをしてしまったりびっくりする子もいたが、円になって座ってのボール渡しからふれあい遊び、大型のバルーンを使っての遊びなど、室内でも十分に体を動かせる遊びを楽しんだ。保育する立場から、普段の活動に参考になるヒントを頂き、とても充実した時間を過ごした。いつもと違った誕生会になり、子ども達も楽しんでた。



《小佐野交番のおまわりさんとお散歩》

平成 28 年 9 月 2 7 日 子ども 14 名 職員 5 名

小佐野交番のおまわりさんが、パトカーで来て下さり、パトカーを見せていただいたり、いつもの散歩コースと一緒に手をつないで歩いていただいた。散歩コースを歩く中で危険予知や安全確認の徹底など、改めて職員間で話し合うきっかけを作って頂いた。普段見る事のないパトカーに座らせていただいたり、赤色灯をつけて頂いたり、子ども達は大喜びだった。



第4部 組織の基盤強化と組織拡大

平成23年3月11日に起きた「東日本大震災」に対応して実施した「被災妊産婦ケア事業」の流れを、被災者の帰郷先において継続させるため、地元の行政・NPO等との協働により、ママと子らの心身のケアと絆の再生、技能習得などに関する事業を行い、ママと子らの笑顔を広げ、心身の安定及び就労の促進と生活再建・生活復興に寄与することを目的として設立された団体が、NPO法人「母と子の虹の架け橋」である。

1. 「母と子の虹の架け橋」の組織目的

ママの自立・自律支援を、必要に即応した事業展開で、家族や社会の元気の元である「ママ」を笑顔するために活動をして来た。自助・公助の間にある共助がNPOのステージである。

生活の課題が、まず、第1の自力で対応できることであれば問題ないが、自助努力で解決できない場合、第2の税を活用して行政で担えるかということ、個性が高いが公平性と均一性のはざまの中で、課題が解決しない面が多々あることから、第3のこれまでボランティアや地域の助け合いの共助に加えて、第4の担い手として、NPOが登場してきた。

「母と子の虹の架け橋」は、主として民間事業所からの寄付を、助成団体を通して活動資金として、被災地の釜石で、他のNPO団体や個人ボランティア、そして市との支援を戴き、ママの自立・自律支援をこれまで進めてきたところである。

2. 組織機構の改革

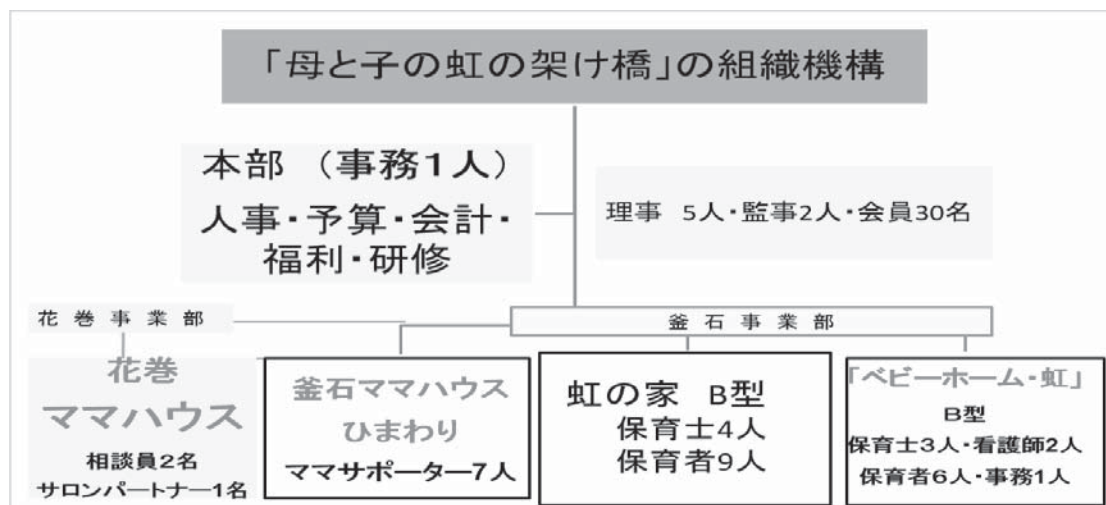
震災の支援を釜石で進めて丸5年が経過し、ママハウスの活動の中で経験知を積み上げてきた。特にこの数年、スタッフから、「自分たちで企画し・運営していきたい」という意見が出て、この機会に、「母と子の虹の架け橋」は、ママハウスを母体とした釜石ママたちによる“新たなNPOの誕生”を一時期、検討をした。以前にも、社団法人化を議論したこともあったが、釜石でも花巻でも、既に市の委託事業が動いていることから、法人からの分離独立は行わず、法人として2017年9月には丸5年を迎えるにあたり、この機会に花巻事業部・釜石事業部の2事業部制を採用して、分権と自治の精神で新たな組織運営を行うことが、理事会・幹事会で検討され、次年度から事業部制をとることとした。

1) 事業部制採用と本部事務局機能

事業計画の策定とその事業運営のマネジメントが特定の人に集中していることの反省の上に立って、事業部制を設けた。各事業部は、対象者のニーズをとらえた事業計画をしっかりと立て、NPOならではの先進的な取り組みで、市民の期待に応えた運営を期すこととなった。なお、法人としては、これまで通り、コンプライアンスに沿って、情報の保護・法人のスタッフの給与支払い及び社会保険等の諸手続き、明瞭な会計処理、そして、資金調達事業部門として、事業計画の企画立案・申請・計画に沿った事業執行と会計報告等、責任持った対応が求められる。

なお、法人としての本部事務局には人事・給与・会計などの事務処理を行うことは、従前と変わらない。

かかる経費は本部経費とし、管理費 10%の拠出を行うことが理事会・幹事会にてこれまで確認されてきたところである。



3. 「母と子の虹の架け橋」の事業部に求められるマネジメント

事業部には、ガバナンス（統治）として、事業企画の戦略づくり、資金調達能力、情報の周知・拡散、伸ばす人材育成、財務・経理のコンプライアンスが求められる。財務・経理のコンプライアンスでは NPO シニアパワーが管理・指導していただいているので問題ないが、事業企画と資金調達は、これまでをベースにしつつ、事業部で立てていくこととなる。情報の周知拡散では、アットマークリアス NPO サポートセンターや、いわて連携復興センターとの協働を継続していくことが必要である。

① 主体的参加と有機的連携

これまでも、「ママハウス」の運営に、傘下のままから、担い手という転換が進み、当事者による当事者運営が一定程度、進んできた。また、ボランティア活動も小規模保育所の中で、定期的に展開されてきている。今後は、地元の市民団体の参画を求めて、社会課題に向き合うことが出来る多様な人々の主体的な参加を生み出す組織を目指していきたい。

「花巻ママハウス」でのサロン活動や、女性相談の際に、同伴でお越しの小さなお子様には、宮澤さんが、これまで、延べ 15 日・5 2 時間のボランティアをして頂いている。これにより、サロンの参加のママは、ゆっくりと集中できています。

「ベビーホーム・虹」及び、「虹の家」では、毎月 1 回、これまで 6 年間にわたって、ピアノで遊ぼう！を実践いただいています。本篇の P 3 0 に記載しています。佐々木美佐子様、有難うございます。これからも、よろしくお願い申し上げます。

4 現地のママが、釜石ママを支える人材育成とスタッフ研修

人材育成ではこれまで、スタッフの研修企画・研修参加を進めてきたが、地域のママ向けの人材育成は、小規模保育の担い手の育成研修を推進してきた。かつて市が行っていた講座を、「母と子の虹の架け橋」で市との共同歩調で、ニチイへの委託を行った。ニチイは保参加型の講座で受講生の関心を引き

付けた講座運営で、学びが即、現場に反映できる研修、実践力ある研修が行えているところである。
ママたちの就労スキル・自律と自立に向けた講座も今後とも継続していきたい。

5 広報活動の強化・・・ホームページのリニューアル

① ホームページの一本化・・・<http://nijino-kai.org/>へ

<https://nijinokai.jimdo.com/imdo> から、<http://nijino-kai.org/> に切り替えた！ Jimdo の時代は、それぞれの事業所ごとのアドレスが違ったが、<http://nijino-kai.org/> により、それぞれの事業所の Hp アドレスを入力しなくても、一括閲覧に進めることが出来るシステムであり、閲覧性は格段の飛躍となって居るものの、情報更新のスキルが追いついていない。スタッフの自前更新がもっと円滑にいくことで課題である。



② 参加したくなるチラシ作り

あれもこれもと書き込まず、何を伝えたいかの焦点を絞って、分かりやすい・見やすい紙面を作りましょうとの声がかかりで、これまでひまわりも含めて、各事業所とも自前のチラシ・通信には意を込めて作り上げることが出来た。

本成果報告書でも、2017年3月号を各事業所通信を掲載しているが、毎月の通信等は、<http://nijino-kai.org/> で、参照下さればとお願いしたい。



子育て世代のママへ “アンケートのお願い”

“釜石ママハウス ひまわり” は、
ママの困ったをサポートするためにアンケートを実施中しています



以下の質問に ☒、またはご記入ください。

1. お住まいについて教えてください

①現在のお住まい

☐戸建て住宅 ☐アパート ☐仮設住宅・公営住宅 ☐その他 ()

②居住地域について教えてください

☐甲子地区 ☐小佐野地区 ☐釜石地区 ☐中妻地区 ☐平田・唐丹地区

☐白石・箱崎地区 ☐鶴住居・栗林地区

②仮設にお住まいの方で今後出られるご予定はありますか？ (有・無)

③出られない方は理由を教えてください ()

2. 親の年代に✓を付けて下さい

☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代以上

3. 家族構成について教えてください

☐核家族 ☐ひとり親世帯 ☐三世帯家族 ☐その他世帯

・同居している家族について 計 人

☐夫 ☐実母 ☐実父 ☐兄弟 ☐義母 ☐義父 ☐義兄弟

☐こどもの年齢 (☐未就学児 ☐小学生 ☐中学生 ☐高校生以上 人)

※可能な範囲でお書きください

配偶者がいない場合：平成 年から

原因：☐死別 ☐離別 ☐その他

理由：☐DV ☐生活費 ☐夫婦関係 ☐家族の関係 ☐その他 ()

4. ご実家について教えてください

・経済的に ☐頼れる ☐頼れない

・子どもの世話で ☐頼れる ☐頼れない

5. 心配なこと・気がかりなことはありますか？

☐健康面 ☐経済面 ☐子どものこと ☐仕事のこと

☐その他 ()

*可能な範囲でお書き下さい。

6. 困った時、身近に頼れる人がいますか？

☐いる ☐いない

7. 震災の被害はありましたか？

☐有 ☐無

8. 現在お仕事をされていますか？

① ☐している ☐いない ☐現在していないが今後働きたい

② ①でしていないと答えた方に伺います。お仕事をしていない理由を教えてください

☐家庭の方針 ☐保育園に入れない ☐必要を感じない

☐その他 ()

③ ①でお仕事をしていると答えた方にうかがいます。勤務時間を教えてください

☐1～3時間 ☐6～8時間 ☐夜間勤務

④ ①でお仕事をしていると答えた方にうかがいます。現在の収入を教えてください

☐～5万円 ☐5～10万円 ☐10～15万 ☐15万以上

現在の収入に満足していますか？

☐している

☐いない→どのくらいの収入が必要ですか？ (万円)

9. お子さまについて教えてください（複数回答可）

お子さまのことで悩んでいることはありますか？

- ☐育児方法 ☐成長発達 ☐学校（成績・いじめ・友達・先生） ☐特にない
☐その他（ ）

11. 下記の手当等貰ったことが有りますか？

- ☐子ども手当 ☐児童扶養手当 ☐特別児童扶養手当
☐生活保護 ☐遺族年金
☐養育費（継続している 継続していない）☐その他（ ）

11. 子育て支援に関する重要度について該当するものに✓をつけてください

	重 要	どちらでもない	重要でない
・妊娠中からの支援	☐	☐	☐
・乳幼児期からの健康づくり支援	☐	☐	☐
・休日保育の充実	☐	☐	☐
・病後児保育の充実	☐	☐	☐
・一時保育の充実	☐	☐	☐
・子育て相談の場や機会の提供	☐	☐	☐
・情報提供・親同士の交流	☐	☐	☐
・子育てに関する学習の提供	☐	☐	☐
・仕事と家庭等バランスがとれる働き方への意識転換	☐	☐	☐
・学童保育の充実	☐	☐	☐

12. 今後、子育て世帯に対してどのような支援があると良いと思いますか？（複数回答可）

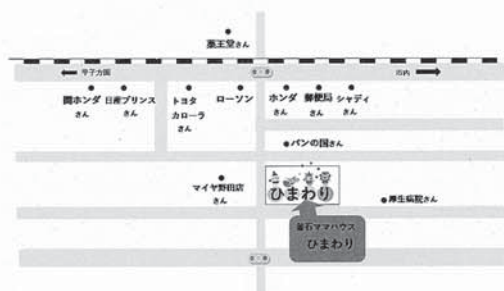
- ☐託児サービス ☐休日保育 ☐病後児保育 ☐ベビーシッター
☐婚活支援 ☐相談の場所
☐自分がスキルアップできる講座
 PC資格取得・簿記・英語・コミュニケーション・メンタルケア
 その他取りたい資格（※具体的に ）
☐親向けの講座
 美文字・裁縫・キャラ弁・食育・ネイル・ヨガ・アロマ・スキンケア・メイク術
 その他（ ）
☐育児方法の学び講座
 子どもの長所を伸ばす子育て・自己主張できる子に育つ・強い子に育つ・親子片づけ術・子どものお金
 その他（ ）
☐子ども向け講座
 リトミック・ダンス・英語・ピアノ・体操・水泳・その他（ ）
☐親子向け講座
 親子料理教室・ベビーダンス・親子ヨガ・ベビーマッサージ・親子記念写真撮影
 その他（ ）
☐女性相談
☐その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

“釜石ママハウスひまわり”では「母と子の笑顔を広げる」活動をしています。

このアンケートを活かしママの暮らしの向上につながる支援をしております。

今後ともご協力お願い致します。



“釜石ママハウス ひまわり”

TEL/FAX 0193-27-8712

釜石市野田町1-15-16

メールアドレス sunflower@nijino-kai.org

ひまわり HP





働きたい女性のための 応援講座

全講座無料

・ひとり親家庭のママ・学んで就労につなげたいママ
・子育て支援をしたい方・スキルアップしたい女性
ご応募ください！

全講座
託児付き



**①離婚・慰謝料・DV等の
現状と解決について**

日時 11月16日(水)
時間 9:30~11:30
場所 中妻応援センター
講師 ひまわり法律事務所 加藤 静香

離婚からしばらくたってでも養育費を請求できるか・別れた夫が養育費を支払ってこない場合の法的手段・養育費の額を増やしてもらうことはできるか、職場でパワハラ・セクハラに遭ったらどうすべきか・子どものいじめ問題(学校で子どもがいじめられたら)・相続の問題(別れた夫が亡くなったときに我が子が財産を相続するには)

**②ママも子どもも笑顔になる♪
片づけしなさいと言わずに済む
整理収納環境作り**

日時 11月17日(木)
時間 10:00~12:00
場所 中妻応援センター
講師 整理収納コンサルティング style-R 代表 金田 玲子

時間もないし自分も片づけ苦手だし...そんなママこそ必見!! 整理収納はコツを知って実践すれば誰でもできるようになるスキルです

**③スピード調理なのに栄養豊か!!
親子で作る美味しいごはん**

日時 11月20日(日)
場所 10:00~12:00
場所 青葉ビル
講師 ヘルシー食生活プランナー メディカルクッキング 代表 佐藤ユウ

料理講習会を通して親子で楽しみながら食事の大切さを認識しましょう! 健康づくりの基本・体の健康・心の健康・頭の健康に毎日何をどのくらいどんなふう食べるかを知り明日からの食事に役立てましょう!

**④大勢の前でもあがらずにラクに話そう♪
緊張上がり克服講座**

日時 11月24日(木)
場所 10:00~12:00
場所 中妻応援センター
講師 緊張上がり克服講師 オフィスラポール代表 佐々木ひとみ

・緊張のメカニズムを知る
・聞き方を変えて、あがりを克服
・言葉遣いを変えて、あがりを克服
・カラダからのアプローチで、あがりを克服

**⑤「働く女性」の
お金の基本を身につけよう**

日時 11月27日(日)
時間 10:00~12:00
場所 青葉ビル
講師 キャリアとマネーのプランニング講師 トータルライフ・ラボラトリー代表 大久保 名美

・意外と知らない「お金の常識」
・無理せずできる「節約の基本」
・知っているけど得する? 「貯蓄の基本」

⑥「自己PR発掘講座」

仕事の経験から掘り起こす自分だけの自己PRポイント

時間 13:30~16:00

・ワークで掘り起こす「自己PRポイント」
・面接でも安心「自分で納得するために」

**⑦生きる力をはぐくむ
子どもの声の聴きかた**

日時 11月29日(火)
時間 13:30~16:00
場所 中妻応援センター
講師 シニア産業カウンセラー CO.CORO サポート代表 藤村七美

子どものなにげないしぐさ、言葉には隠されたメッセージがあります。子どもの心に耳を傾けていくと、自分の心の声も聴こえてきます。日常の親子関係のポイント、心の在り様を理解しましょう。

**⑧貴方の良さをきちんと伝える!!
基礎から学ぶビジネスマナー**

日時 12月8日(木)
時間 10:00~12:00
場所 中妻応援センター
講師 人材育成コンサルタント (株)ai びじねす 代表取締役 中村夢美子

・きちんとしたビジネスマナーでこう変わる
・伝えたいことが伝わる話し方
・電話応対のコツ
・これだけ確認 動作・しぐさ・表情のポイント

**⑨自分を好きになることが、
最初の一步!**

日時 12月18日(日)
時間 10:00~12:00
場所 青葉ビル
講師 コーチング研修講師 office-asaji 代表 藤原麻路

・自分とのコミュニケーションが上手くいく方法
・各自の前進のためのちょっとしたコーチング

**⑩嫌いな人がいなくなる?!
最高のコミュニケーションを手にしよう!**

時間 13:30~16:00

・カードを使ってワーク 自分と他者との違いを目で見て理解
・違いを活かすためのコミュニケーションスキル・相手に届くコミュニケーションをつかむ

**⑪あなたの暮らしや権利を守る
働く上での知識あれこれ**

日時 12月21日(水)
時間 10:00~12:00
場所 青葉ビル
講師 社会保険労務士 オフィスサポート SAWASE 所長 澤瀬典子

・仕事における権利と義務
・給与明細の見方
・病気やケガで働けないときのセーフティネット
・いきいきと働くために(ハラスメントの防止やSNSとの付き合い方) プロフィールル



⑫ P C 講座

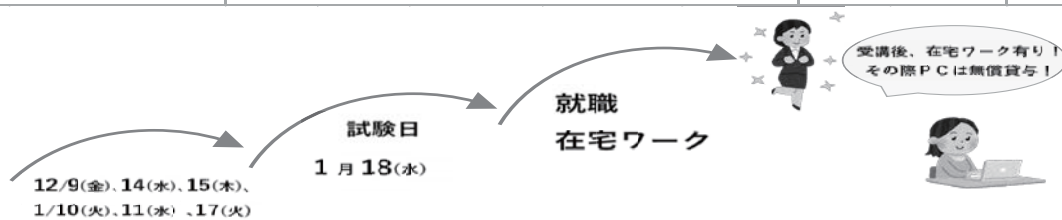
公的資格試験

コンピュータサービス技能評価試験 3 級表計算技士

資格取得認定まで指導します。

- ・試験料 5,250 円
- ・テキスト代 1,300 円位

時 間	日 時	場 所	講 師
9:00~12:00 13:00~17:00	12/9(金)、14(水)、15(木)、1/10(火)、11(水)、	釜石職業訓練協会	阿部 範子
9:00~12:00	1/17(火)、18(水)		



申込書			
フリガナ 氏 名		生年月日	昭和,平成 年 月 日
		(年齢)	(歳)
住 所	〒		
メールアドレス	@		
電話番号		託 児	有 、 無
申込講座 (参加講座に○をつけてください)	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ ☐ ⑦ ☐ ⑧ ☐ ⑨ ☐ ⑩ ☐ ⑪ ☐ ⑫		
お子様の名前、年齢	歳 歳 歳		

問い合わせ
申込み先

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋 釜石ママハウス・ひまわり
 電話・FAX **0193-27-8712**
 メール: sunflower@nijino-kai.org



この事業は県の「NPO等による復興支援事業 復興枠」による助成金により運営されます。

後援：釜石市

ひとり親家庭 支援者養成講座

家族のかたちにかかわらず、誰もが明るく未来への可能性が広がられるよう、日々、寄り添い、活動されている方々の講座です。

希望をもって生きていける・孤立せず・支え合うコミュニティを目指して。

日 時	時 間・場 所	講 師	テ ー マ
3月20日 (月)	10時30分～12時 青葉ビル 活動室	インクルいわて 山屋 理恵氏	・シングルマザーの現状と課題 ・子どもの貧困の現状と課題
3月24日 (金)	13時30分～15時 青葉ビル 活動室	釜石市社会福祉協議会 くらし・しごと相談室 主任相談支援員 大津山 愛児氏	・生活困窮者自立支援事業 ・ひとり親家庭の相談内容・対応・手当等

参加申込書

お名前	団体名	住 所	電話番号	メールアドレス

申込み先 TEL・FAX・メール 0193-27-8712 sunflower@nijino-kai.org

共催 釜石市・特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋
釜石ママハウス ひまわり

後援 IBC 岩手放送(申請中)

この事業は岩手県 NPO 等による復興支援事業の助成金により行われています。

花巻ママハウスは、
女性のための
フリースペース



特定非営利活動法人

母と子の虹の架け橋

花巻ママハウス
パーソナルサポートセンター
3月のおしらせ

☆協賛☆ 花巻市・花巻市教育委員会・花巻市社会福祉協議会

〒025-0062 岩手県花巻市上小舟渡 272-1 伊藤住宅8号棟
開館日時：月曜～日曜 10時～16時（年末年始・祝祭日は休み）
TEL・FAX：0198-29-6800

MAIL：hanamaki.mamahouse@gmail.com

mamahouse.soudan@gmail.com（相談専用）

WEB&Facebook：http://hanamaki-mamahouse.jimdo.co

花巻ママハウスで検索

お車でお越しの際は、イトーヨーカドー様のご厚意により、駐車場をご利用いただけます。駐車場から見える⇒この看板が目印



3月のイベント



『絵手紙教室』

3月13日（月）10:30～12:00

要予約（3月10日まで）

「下手が良い、下手で良い」

気持ちのこもった絵手紙を

描いてみませんか？

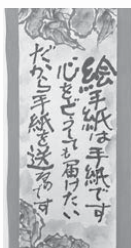
託児はないけど、子連れOK◎

対象：どなたでも 持ち物：特になし

参加費：500円

講師：照井満喜子

（日本絵手紙協会公認講師）



ママ手芸部

3月8日（水）10:30～12:00

予約不要

「手芸したいけど、家だと子供に邪魔されて…」
「やってみたい手芸があるけど、どうやって始めた
らいいかわからない…」

そんなママ達の参加お待ちしております！

お茶っこ飲んだり、おしゃべりしたりしながら、

みんなで手芸を楽しむ時間を作りましょう！

時間内は出入り自由です。お気軽にどうぞ！

託児はないけど、子連れOK◎

参加費は無料

持ち物：好きな手芸



『レジアクセサリー教室』

3月21日（火）10:30～12:00

要予約（3月17日まで）

手作りアクセサリーで人気の

レジンが作れちゃいます！！

今回はストラップを作ります♡

2個作れますよ♪

託児はないけど、子連れOK◎

対象：どなたでも

参加費：1056円（材料費込）持ち物：特になし

講師：ひまわり手芸店 八幡



『ベビーマッサージ』

3月23日（木）10:30～11:30

要予約（3月17日まで）

親子の絆がぐんと深まる♪

便秘や夜泣き改善に効果がある

マッサージもありますよ！！

対象：2ヶ月～1歳までのお子様とママ

持ち物：バスタオル、いつものお出かけセット

参加費：1500円（オイル、防水シート代）

講師：竹下 綾菜（ロイヤルセラピスト協会認定講師）



女性のからだのための講座

『布ナプキン&ストレッチポール教室』

3月24日（金）10:30～11:30

要予約（3月21日まで）

今注目されている布ナプキンを手作りしながら自分の身体と向き合おう。

骨盤底筋を意識するストレッチをして、尿漏れ、肩こり、腰痛を予防しよう。

お仕事や育児で自分のことは二の次になっていませんか？自分と向き合う時間を
作ることによって、結果 All Happy の近道になります。

託児はないけど、子連れOK◎

対象：どなたでも 持ち物：特になし（材料・針は先生が用意して下さい）

参加費：1500円（材料費+ポールレンタル料）

講師：原田恵子



やむを得ずイベント・講座が中止となる場合があります。予約制のものは個別に連絡をさしあげます。予約プログラムにつきましては、HPやfacebookでご確認いただくか、花巻ママハウスまでお問い合わせください。各イベントの日程や変更等は、HPやfacebook、毎月発行のチラシに掲載いたします。

3月 カレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	女性弁護士相談 13:30-15:30 要予約		ママ手芸部 10:30-12:00 予約不要			
12	13	14	15	16	17	18
	絵手紙教室 10:30-12:00 要予約 (500円)					
19	20	21	22	23	24	25
	休館	ひまわり手芸店出張講座 10:30-12:00 要予約 (1056円)		ベビーマッサージ 10:30-11:30 要予約 (1500円)	布ナフ&ひめつ教室 10:30-12:00 要予約 (1500円)	
26	27	28	29	30	31	

※各講座・イベントの詳細、お問い合わせ先は、HP・本チラシをご覧ください。

花巻ママハウスは
女性のための無料
で利用できる、
フリースペース♡
お子さま連れのママ
に限らず、ママだけ、
フレママさん、お孫
さん連れ…
女性なら誰でも
利用できます！

サロンの
講師募集中！
あなたの特技で
教室開設！
ご応募、お待ちしております♪

●先取り情報●

・4月27日アロマ教室開催致します

・5月に春のリサイクル交換会開催予定です

くらうん・しゅがー
「にこにこ子育て」



第16号「今、苦労しますか。それとも将来、苦労しますか。」

皆さんも子育ての悩みを友だちに相談したり、困った時にネットで情報収集をしたりしているように、「スマホ」は「上手に」使えば便利なものであり、子どもたちも大人になった時「使いこなせなければ」困る道具です。そのために、便利で快楽的な「スマホ」に支配され、日常生活を振り回されることなく、「上手に」・「使いこなす」ために、善悪の判断ができ、誘惑に負けず、我慢することができる子どもに育てていかなければなりません。

「スマホ」の問題は機器の問題ではなく、使う人の「心の問題」なのです。判断力が弱く、誘惑に負けやすく、我慢ができない幼少期・小学生期からスマホ漬けになっていたら、どんな青年（中学生・高校生）になるのでしょうか。泣きやまない「今」をやり過ごすために安易な方法（スマホを見せる）を選ばず、青年や大人になった時のことを考えて「今」すべき方法（理解させる・我慢させる）をとる必要があるのではないのでしょうか。

☆「女性なんでも相談」 女性が抱える様々な悩みや心配事。独りで悩んでいませんか？

誰にでも苦しい時、辛い時がありますね。ひとりで抱えているとより一層苦しい。

そんな時、女性相談をご利用下さい。

ご来所や、mamahouse.soudan@gmail.com のメール相談もできます。詳細はHPをご覧ください。

相談日：毎日（年末年始、祝祭日除く） 10～15時 無料です。土・日は花巻市の委託事業

☆「女性弁護士の相談」 加藤静香氏 花巻市委託事業（平成28年4月～平成29年3月）

毎月第1月曜日 13:30～15:30 （お一人30分、1日4名まで）

3月6日（月）（ご予約は 2月20日（月）から受付開始）

ご予約は花巻ママハウスへ、来所か電話にてお願いいたします。相談料は無料です。

↓↓「毎月発行のお知らせチラシ」の設置場所↓↓

保健センター・まなび学園・こどもセンター・花巻市役所・花巻市内図書館・社会福祉協議会・花巻市内子育て支援センター・ジョブカフェ
花巻市交流会館・中部病院・KUBOクリニック・工藤医院・川崎医院・こどもみらいクリニック・はじめこどもクリニック・アルテ・イトーヨー
ーカドー・おいものせなか・フォルダ・ビッグハウス・しっぽ（順不同・敬称略）また、HPやfacebookでもご覧いただけます。

*2016年4月～2月までは、HPをご覧ください。



22号

2017.3.1 発行

元気の出る家

読売光と愛の事業団助成

「虹の家」通信

釜石市中妻町1丁目16-10 高橋ビル1F

TEL&FAX 0193-55-6601

HP: <http://nijino-kai.org/>

メール: nijinoie.kamaishi@gmail.com

寒さの中にも、春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。お散歩に出かけると福寿草が咲き、チューリップの芽が出ていました。お天気の良い日は子ども達と春探しを楽しんでいます。早いもので今年度もあと一カ月となりました。めろんチームさんとも、もうすぐお別れですね。

ちょっぴり寂しいですが、たくさん思い出を作って頂きましたね。

残り少ない虹の家での時間をいっぱい楽しんで下さいね。



おにわそと～ ふくわうち～

節分の日 虹の家に鬼が来ました。豆まきの練習をしていた虹っ子達はみんなびっくりして泣いてしまいました。鬼と「よい子になります」とお約束をして鬼は皆の心の中の鬼を連れて帰って行きました。豆の代わりにたまごボーロを頂きましたよ。



絵本を頂きました

東京都廃棄物協会婦人部様より、大型絵本を頂きました。海の生き物が出てくるお話で、子供たちは真剣に見ていました。



～公園へ出かけました～

2月とは思えない暖かい日、みんなでなかよし公園へ行きましたよ。久しぶりの公園にみんな大はしゃぎ。ブランコや滑り台をいっぱい楽しんできましたよ。小さいお友達も、靴を履いてトコトコ歩いて来ました。又いこうね。



あかりをつけましょ～ぼんぼりに～

もうすぐひな祭りですね。虹っ子達もおひな様を作りましたよ。水性マーカーで絵を描いて、霧吹きでシュッシュッしました。とてもかわいいおひな様が完成しましたよ。



ここに一枚写真が入ります

いわて子育てネットのみなさん来園

2月の誕生会は、いわて子育てネットの方が来園して下さいました。人見知りをして泣いてしまったお友達がいたり、大型バルーンがちょっと怖くて見ているだけのお友達もいましたが、リズム遊びや健康体操など、みんなでたくさん体を動かして楽しみました。



3月の行事

- 2日 ひな祭り会
- 14日 ミュージック虹
- 15日 身体測定
- 22日 避難訓練
- 31日 おわかれ会

*2016年4月—2月までは、HPをご覧ください。

資料6 ベビーホーム虹通信

小規模保育事業C型

「ベビーホーム・虹」通信

第31号 (2017.3.1)

子ども・ママ・パパたちの笑顔が輝くよう応援します！！

特定非営利活動法人
母と子の虹の架け橋

〒026-0045 釜石市小川町 4-2-7

TEL・FAX 0193-27-8871

<http://nijinoie-kamaishi.jimdo.com/>

E-mail babyhome-niji@ark.ocn.ne.jp

はぐらのロコモーション♪

2月の子どもたちの様子

ハイチーズ！

少し気温の低い日もありましたが、お天気の日、元気に川沿いをお散歩しました。室内で過ごす日は、音楽をかけて「アンパンマン！」という子ども達の声を聞きながら体操したり、手遊びをしたりして楽しみました。

この時期は、4月から通う、保育園・幼稚園が決まる時期です。子ども達は、この一年で今まで出来なかった事が沢山できる様になり、見違えるほど成長しました。新しい環境でも明るく元気に過ごせることと思います。

3月の予定

7日	避難訓練
10日	アドバイザー 佐藤千喜子先生
14日	music 虹
17日	身体測定

利用状況(3月1日現在)

区分	男	女	計
0歳児	3	1	4
1歳児	1	5	6
2歳児	4	1	5
計	8	7	15

----- 看護師より -----

先日は、他の園でインフルエンザによる園閉鎖がありました。またこの時期全体的に溶連菌の発症も小さいながらもしばらく横ばいの状態です。ベビーホーム・虹でも子ども達の体調の変化を日々把握しておりますが、今後もしばらく送り迎えの際など子ども達の健康状態をお知らせ下さる様、ご協力をお願い致します。

3がつうまれのおともだち

いとはちゃん 3. 24 2歳

はるとくん 3. 1 3歳

おめでとうございます！

0歳から2歳までのお子様の保育、申し込みは市にて受け付けています。
未就学児の第2子以降の保育料は無料 釜石市子ども課 (22-5121)

*2016年4月—2月までは、HPをご覧ください。

2016年(平成28年) 11月15日(火曜日)

岩手日報

ママハウス集まって

一人親家庭へ
花巻のNPO
交流の拠点開設

被災地で母子支援活動に
取り組むNPO法人「母と子の虹の架け橋」(花巻市、若菜多摩英理事長)は14日、釜石市野田町にシングルマザーらの交流施設「釜石ママハウスひまわり」を開設した。託児所を併設するほか、資格取得などを支援し、子育てと仕事の両立を後押しする。

施設は旧黒田歯科医院の建物を利用。シングルマザーらを対象とした「働く上でのマナー講座」など多様



な企画を展開する。受講者のための託児所や交流スペースも設ける。常時利用できるパソコン3台を置き、情報環境も整えた。夏休みや冬休みなどに小中学生向けの子ども広場としての開放も予定している。

若菜理事長は「小さい子どもを預けながらさまざまなことにチャレンジできる。参加者が楽しく笑顔になる施設にしたい」と意気込む。

毎日午前9時～午後5時に開設。託児所は日曜日を除く午前9時～午後5時。保育料は母子・父子家庭が1時間250円、1日1500円。一般家庭は同300円、同2500円。講座の受講料などは原則無料とする。問い合わせは釜石ママハウスへ。

「一人でも多くの人に参加してほしい」と呼び掛ける釜石ママハウスひまわりのスタッフら

ママハウスひまわり(0193・27・8712)へ。

岩手日報 2016年11月15日

シングルマザー 就労支援に拠点 仕事探し中の託児も

NPO 釜石に開設

シングルマザーらの就労を応援しようと、震災の被災地で母子支援を続けるNPO法人が14日、釜石市野田町一丁目に交流施設「釜石ママハウス ひまわり」を開設した。母親が仕事探しや資格取得に向けて勉強する間、乳幼児を一時預かるほか、就労や子育て支援の情報を提供する。

運営するのはNPO「母と子の虹の架け橋」(花巻市、若菜多摩英理事長)。震災後に釜石市内の仮設住宅などを拠点に母子の暮らしを支援。市の委託で別に



自由に使えるノートパソコンも3台置いた。釜石市野田町一丁目

保育所も運営している。

「ひまわり」は、歯科医院だった建物の一角を保育スペースに改装した。平日と土曜日の午前9時〜午後5時、0歳〜6歳児を預か

朝日新聞 2016年11月16日

る。一時保育を初めて利用する際、親子で事前にスタッフから説明を受ける必要がある。就職情報などを調べるために、待合室だった部屋には無料で使えるノートパソコン3台を置いた。NPOは、働きたい母親を対象にした有料のパソコン講座を12月9日に始める。表計算技士の資格を取得した人には在宅でできる仕事も紹介する。マナーや知識などを学ぶ無料講座も開く。問い合わせは同施設(0193・27・8712)へ。(山浦正敏)

子育てに関わる法知識に理解を深める講座



復興釜石新聞 2016年11月19日

働きたい女性をバックアップ 料理、子育てなど多様なテーマで

ひとり親家庭のママ、ただでなく、料理、整理、就労したいママ、子育て、収入、子育てなど多様なテーマの11講座を12月まで実施。受講は無料。全講座で託児もできるよう配慮しており、主催者は気兼ねな参加を呼び掛けている。初回は子どもを育てる上で必要な法知識を解説する講座で、上中

か、職場でのパワハラ、セクハラ、子どものいじめ、相続の問題の法的手続きなども説明した。会場ではお茶やお菓子を囲みながら参加者が自由に意見を出し合う場面も。和らいた雰囲気の中で、参加者は固くて難しいものと感じがちな法知識について理解を深めていた。短期集中講座として釜石職業訓練協会(平田)で行う有料のパソコン講座(表計算)は、資格取得を目指すコースを12月9日から開始。来年1月まで7回の研修が組まれていて、テキスト代や試験料など費用がかかるが、資格取得後には同法人が在宅ワークの紹介、パソコンの無償貸与など就労を支援する準備もしている。そのほかの応援講座は同センターや青葉ビルを会場に開講。定員に余裕があり、受講生を募集している。申し込み

みは釜石ママハウスひまわり(電話0193・27・8712)メールsunflower@nijino-kai.org)く。日程は次の通り。▽20日「親子で作るおいしいごはん」▽24日「緊張克服講座」▽27日「お金の基本を身に付けよう、自己PR発掘講座」▽29日「子どもの声の聴き方」▽12月8日「基礎から学ぶビジネスマナー」▽18日「コミュニケーション」を磨く▽21日「働く上での知識あれこれ

11月21日

ママハウスひまわり

野田町
に開設

花巻のNPO 一人親家庭を支援 託児所も併設

釜石市内で子育て支援施設や一時預かりの託児施設などを運営するNPO法人「母と子の虹の架け橋」（花巻市、若菜多摩英理事長）は14日、シングルマザーらの就労を応援しようと、野田町に交流施設「釜石ママハウスひまわり」を開設した。県の「NPO等による復興支援事業」として採択されたもの。母親が仕事探しや資格取得に向けて勉強する時間を確保できるような乳幼児を一時預かる託児所を併設するほか、就労や子育て支援の情報を提供するなど子育て世代の女性を後押しする。

「ひまわり」は旧歯科医院の建物を利用し、一角に保育スペースを設けた。待合室だったスペースは母親らが交流するサロン活動や就職情報などを調べたりできる場として毎日開放（午前9時から午後5時）。無料で使えるノートパソコン



本や遊具が並んだ保育スペースに集まり、気軽な利用を呼び掛けるスタッフ

市の認定を受けた保育者、県母子寡婦福祉連合会の家庭生活支援員の資格を持つスタッフなど8人を配置。弁当やおやつを持参してもらうことになっており、一時保育を初めて利用する際は、親子で事前

にスタッフから説明を受ける必要がある。このほか、シングルマザーらの交流促進や働きたい女性がマナーや知識を学ぶ無料講座など多様な企画を展開する。



開設した交流施設「釜石ママハウスひまわり」

若菜理事長は「小さな子どもを預けながらママたちがさまざまなことにチャレンジできるようにしてほしい。来た人が楽しく笑顔になる施設にしたい」と期待。同施設チーフの及川菜美子さん（31）は自身も2人の子育て中で、「ママがリラックスできる場になりたい。スパーが近くにある

て立地が良く、通いやすいと思う。見学も兼ねて気軽に足を運んでほしい」と呼び掛けた。問い合わせは釜石ママハウスひまわり（電話0193・27・8712）へ。

2016.4.16

住民の理解が得られず、対して外部から見えない、いのではないかと危惧する。保育園が新規開園できない、構造でもあり、危険回避や、私が東京都足立区の職員という問題が新聞で報道され、防犯上、これで良いのかと不安を感じる。将来の社会サイクルセンターを建設し記事を目にする機会が多、保険の支え手になる子どもい。子どもが少なくなり、の保育がピンチだ。子どもの笑い声、泣き声、「子どもが宝」と言う時代「きーきー」遊ぶ声、が過ぎてしまったのか。しか聞こえない地域が増え、静し、住民を批判すれば良いことがあった。若い世代が寂に慣れた人にとって、子どもの声が騒音に… 多く住む地域で、あればさほどでないかと思うが、かと言うと、それだけでは高齡世帯など、少子化の中で静かに暮らしている方々の住宅密集地での建設では、そうした配慮も必要にの構造や配置場所の再検討、なっている。

（わか・たまえ／NPO法人母と子の虹の架け橋理事長／花巻市）

復興釜石新聞 2016年 4月 16日

復興釜石新聞 2016年 4月 30日

2016.4.30

子どもの声がうるさいこ「ビーホーム虹」が警察署のおいちゃん、おばちゃんなどを理由に、住民の理解が得られず、幼稚園や保育園が新規開園できないというニュースが流れる中、又を往復しながらアドバイというニュースが流れる中、NPO法人「母と子の虹」の道では、いつものように「正しい交通ルールと交通マナー」について、小川町の「地域の方々に見守られ」に手をつないだり、公園で遊んだり、楽しい

「正しい交通ルールと交通マナー」について、小川町の「地域の方々に見守られ」に手をつないだり、公園で遊んだり、楽しい

（わか・たまえ／NPO法人母と子の虹の架け橋理事長／花巻市）

南米では初めて、ブラジミングでも銅メダルを獲得する喜びの顔は、コーチに家族に、応援席に感謝を述べ、信じていることと努力することへの賛美が会場いっばいに満ちていた。

メダルを掛けた人の胸に去来したものは、身近な人のサポートにあったように思っていた。

銀8個・銅21個の計41個と、子らに希望が与えられ、身近な人を超え史上最高の成績を収めて語っていた。本人の努め、応援に応えようとするきた。

中でも女性
の活躍は目を見張るものがあつた。卓球の福原愛、レスリングの伊調馨・登坂絵莉・川井梨紗子、競泳の金藤理絵、重量挙げの三宅宏実、バドミントンの高橋礼華と松友美佐紀、柔道の田知本遥……と書き尽くせない。シンクロナイズドスイ

五輪で輝く女性の活躍
が、目標達成（成功）をもた

力と周りの支えと理解がメダリストに導いた。周囲の期待に応え、金・銀・銅のメダルに輝いた人は、ひたむきに努力し、苦しくても投げ出さず希望を持ち続けて、自分の力を信じてきた。充実感みなぎ

（わかな・たまえ／NPO法人母と子の虹の架け橋理事長／花巻市）

← 復興釜石新聞 2016年 8月 24日

復興釜石新聞 2016年 9月 21日 ↓

私の幼児期は、家の周り「声」にかわってしまったの地域自体が「幼稚園」だった。この冬休みから来年の夏にかけて、「こども広場」を開催する予定である。

また、気軽に来て話せるママの集いの空間・学びの空間として設ける「ひまわりの家」では、OA講座などを適宜開催し、ママたちが在宅ワークのスキル・事務職で就労できるスキルと仕事のあわせん（情報提供）を予定

「こども広場」を計画

いつも遠くから、子どもも飲も広場」を開設した。主として小学生や中学生の遊び・学びの空間として設けず、保育「チャイルドハウスの併設したいと、目下、市街地で物件を探している。

（わかな・たまえ／NPO法人母と子の虹の架け橋理事長／花巻市）

2016.12.10

基本、仕事は責任が伴う。給料を得ているからには、同僚には迷惑をかけられない。仕事は楽しい、やりがいもある。でも、子どもが小さい時はよく熱も出す。欠けてはならない会議があり、責任ある大事な日に決まって熱を出すわが子。親の緊張が子に伝わるのか、それが結構、月曜日ときている。

私自身は朝8時半から夕方5時15分までの完全外勤で62歳まで働いた。3人姉妹のわが子は、上の子（ミニママ）が下の子を見る。当時、バス・電車を乗り継ぐ通勤時間含め11時間拘束の私は、保育所の送り出しを夫によく頼んでいた。時代は変わり、釜石では今

「プチ勤務」という、ちょっとした。そんな時、働くママは、働きたいママと人材活用したい事業所の思いが一致する。午前9時から12時までという3時間のプチ勤務。まだまだ、ママに子育ての責任が負わされている時代の。子どもが家にいる土曜日は働きづらい。夕方以降は子どもさんの保育に協力もしてきたが、11月から「ひまわり」では一時預かりの託児も始めた。私たちは、働きたいママのスタートダッシュを支え、両足を大地に付け両腕で経済的自立に向かう女性の傍らで力になりたい。

（わかな・たまえ／NPO法人母と子の虹の架け橋理事長／花巻市）

← 復興釜石新聞 2016年12月10日

復興釜石新聞 2017年2月18日



2017.2.18

保育所に入れた、入れないという諦め感が、人口減少と少子化をブッシュしてきた側面もあったのではないかと今さらながら思う。しかし一方では、公園の中に保育所が建設できる法改正が論議されている。街中の保育所建設反対運動が片一方にあったの窮余の策として目に映るが、光と風、草木、虫に触れられる環境、飛んだり走ったり、大声を出しても遠慮がいらないということは、子どもにも保育者にも良いことだろう。

暮らしが脅かされるという政策に女性の声が届いていない証左だ。暮らしの現場と政策決定の場の絶望的な距離感と、何も変わらないス金石／花巻市

保育所保育
求めるか、家庭保育を進めたいか個人が自由選り、孫の時代になっても変わらぬ時代というわが子に「保育園落ちた、日本死ね」というストレートな距離感と、何も変わらないス金石／花巻市

保育所保育
求めるか、家庭保育を進めたいか個人が自由選り、孫の時代になっても変わらぬ時代というわが子に「保育園落ちた、日本死ね」というストレートな距離感と、何も変わらないス金石／花巻市

ママは、新しい命を宿し、子のために頑張っていく。婚ということにな
お腹をかばい、生まれ出る とがご恩返しです」と崇高
命へのいとしさを10カ月 の感動をもって、アネック
間、体感していく。生まれ ス（花巻で開所の被災妊産 送った。
出たわが子が、乳房に吸い 婦ケア施設を退所して そう、ママは自分が腕に
付く力強さは感動であり、 行った。抱きとめた子ゆえに、前を
命そのものに触れ得た思い 行っ。向いている。これはどのマ
である。神から与えられた マにも共通している。震災
この命は、私無くしてどう を持って退所されていくマ の年の9月下旬、平田に開
して守られようか マの支えになるよう、私た 設した「ママハウス」でつ
と、崇高な使命感 ながつたママたちも
と生きがいさえも 押しなべて、子育て
与えられた。その感動は、 不安にも真正面か
今でも強く残っている。マ の不安や喜びも分かち合
ママたちは、ひとしく、わが えるママの存在は心強く
子との心の絆が固く結ばれ なんです語り合える仲に
ていく。 なっていった。

それゆえだろうか。6年 あれば、子育ての心身の苦
前、被災妊産婦のケアをさ 労は大きく癒やされ、ママ （わかな・たまえ／NPO母
せていただいた折に、ある のパパへの大きな感謝とな と子の虹の架け橋理事長／花
ママは「これからは、この りますよ。定年とともに離 巻市）

ママたちの復興

← 復興釜石新聞 2017年3月4日

特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋

シングルマザー家庭への支援

岩手県釜石市を中心としたシングルマザー家庭へのサポート事業を支援。学校の長期休業中に子どもたちが過ごせる子ども広場の開設や、支援を必要としているシングルマザー家庭への訪問と交流を実施する。

JCB 掲載記事



「働きたい女性のための応援講座」16日から開講 受講者募集

釜石市平田の仮設住宅で「ママハウス」を運営するNPO法人母と子の虹の架け橋は、11月16日から12月21日まで9回にわたって開講する「働きたい女性のための応援講座」の受講者を募集している。ひとり親家庭のママ、就労したいママのほか、子育てを応援したい人やスキルアップしたい女性などに受講を呼び掛けている。受講は無料で、全講座に託児所を設ける。受講申し込み・問い合わせはママハウス（電話0193・55・5422）へ。

日程は次の通り。カッコ内は会場／講師。

【11月】▽16日＝離婚・慰謝料・DVなどの現状と解決について（中妻応援センター／ひまわり法律事務所・加藤弁護士）▽17日＝整理収納環境づくり（同／整理収納コンサルタント／金田玲子）▽20日＝親子で作るおいしいごはん※材料費として大人300円、子ども300円（青葉ビル／ヘルシー食生活プランナー・佐藤ユウ）▽24日＝緊張克服法（中妻応援センター／緊張あがり克服講師・佐々木ひとみ）▽27日＝お金の基本を身につけよう／自分の長所を最大限に引き出す秘策（青葉ビル／トータルライフラボラトリー代表・大久保名美）▽29日＝子どもの声の聴き方（中妻応援センター／シニア産業カウンセラー・藤村七美）

【12月】▽8日＝基礎から学ぶビジネスマナー（同／人材育成コンサルタント aiびじねす代表・中村夢美子）▽18日＝自分を好きになる／最高のコミュニケーション（青葉ビル／office-asaji 代表・藤原麻路）▽21日＝働く上での知識あれこれ（同／社会保険労務士・澤瀬典子）

復興釜石新聞

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋

<http://nijino-kai.org/>

母と子の笑顔広げる 施設紹介

花巻ママハウス

〒025-0062 花巻市上小舟渡 272-18

開館時間：月曜日—日曜日 10時—16時

(年末年始・祝祭日は休み)

電話・FAX：0198-29-6800

メールアドレス：hanamaki.mamahouse@gmail.com

女性なんでも相談 mamahouse.soudan@gmail.co

*メールは何時でもお受けしております。お気軽にどうぞ

ひまわり

〒026-0054 釜石市野田 1-15-16

開館時間：月曜日—土曜日 10時—16時 年末年始・祝祭日は休み)

電話・FAX：電話・FAX：0198-27-8712

メールアドレス：sunflower8@nijino-kai.org

虹の家 B型小規模保育所

〒026-0034 釜石市中妻町 1丁目 16-10

電話・FAX：0193-55-6601

保育時間：7時半—18時半まで。

休館日：日曜日・祝祭日・年末年始

メールアドレス：nijinoie.kamaishi@gmail.com

ベビーホーム・虹 C型小規模保育所

〒026-0045 釜石市小川町 4-2-7

電話・FAX：0193-27-8871

保育時間：7時半—18時半まで。

休館日：日曜日・祝祭日・年末年始

メールアドレス：babyhome-niji@ark.ocn.ne.jp

